

石川県立歴史博物館

年 報

第 21 号
平成 30 年度

発行にあたって

平成30年度は、3つの特別展と2つの企画展を中心とした博物館活動を展開しました。

春季特別展「明治維新と石川県誕生」は、平成30年が明治改元（1868）から満150年にあたることから、明治前期の政治・社会を地域の視点から紹介しました。夏季特別展「発掘された日本列島2018」は、近年発掘された全国各地の遺跡や、北陸新幹線の建設や史跡整備等に伴う石川県内の発掘成果を一堂に展示しました。また、秋季特別展「歌舞伎衣裳 綺羅をまとう」は、各地の地歌舞伎衣裳とともに、金沢の香林坊にあった劇場「福助座」とその興行師・梅若ゆかりの衣裳をまとまった形で公開する貴重な機会となりました。春と秋の展覧会にあわせて開催された「石川の歴史遺産セミナー」では、百万石の領地を治めた加賀藩の明治維新、江戸後期の金沢を彩った歌舞伎・茶屋街という2つのテーマに関する最新の学術研究を発信することができました。

ワークショップなどのイベントも年間を通じて行われ、子どもから大人まで幅広い世代の方々に楽しんでもらえる内容となりました。今後もリニューアルのコンセプトである「誰もが楽しく学べる博物館」「ゆったりとくつろげ、交流を育む博物館」「人に優しい博物館」の実現と発展に向けて、より一層努力を重ねていきたいと考えています。

ここに、平成30年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

目次

基本構想・利用案内

I. 平成30年度の事業

1. 展示活動
2. 調査研究活動
3. 資料収集保存活動
4. 教育普及活動
5. 入館状況

II. 施設概要

1. 設備概要
2. 各棟面積一覧
3. 館内平面図

III. 組織と運営

1. 職員組織

2. 職員名簿

3. 予算及び決算

4. 事務分掌

5. 各種委員会

6. 入場料について

IV. 関連条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例
2. 石川県立歴史博物館管理規則
3. 石川県立歴史博物館使用料条例
4. 石川県立歴史博物館使用料施行規則

V. 日記（抄）

VI. 各種書式

基本構想

石川の歴史と文化を正しく、楽しく学習する拠点施設としての機能を充実するとともに、より多くの県民の方々や観光客に訪れて頂けるよう、国指定重要文化財としての建物の魅力や本多の森公園の立地環境を生かしながら、周辺施設と連携協力し、親しみやすく利用しやすい博物館とする。

(1) 誰もが楽しく学べる博物館

訪れるたびに新鮮な驚きと発見／感動があり、楽しく学べるとともに、探求心を育む博物館を目指す。

(2) ゆったりとくつろげ、交流を育む博物館

フリーゾーンを新設し、誰もが気軽に立ち寄り、本多の森公園の緑や国指定文化財の赤レンガ建物が持つ落ち着いた雰囲気の中でゆったりくつろぎ、様々な交流が生まれる博物館を目指す。

(3) 人に優しい博物館

様々な人々が快適に利用できる博物館、石川の歴史や文化に関する資料を大切に保管し、未来へと伝える博物館を目指す。

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 年末年始(12月29日～1月3日)、資料の展示替え・整理の期間

観覧料 常設展 個人 一般300円、大学生240円、高校生以下無料、65歳以上240円

団体(20人以上) 一般240円、大学生190円

加賀本多博物館との共通券(常設展のみ) 一般500円、大学生400円

特別展 その都度変わる。

交通案内 徒歩／兼六園から約3分

バス／北陸鉄道バス出羽町下車徒歩約5分

広坂・21世紀美術館下車徒歩約8分

タクシー／JR金沢駅から約10～15分

自動車／北陸自動車道

金沢西IC・森本ICから約10～30分

駐車場 30台(無料)

所在地 石川県金沢市出羽町3-1



I. 平成 30 年度の事業

1. 展示活動

(1) 常設展示

「石川県の歴史と文化」をテーマとした総合展示。実物資料のほかジオラマや模型、モニターや大型スクリーンによる映像、パネルなどを駆使し、分かりやすく紹介している。ポイントとなる模型や展示資料は4ヶ国語の音声ガイドによって解説を加え、学習効果を高めている。

第1展示室

[導入映像] (展示室入口)

現代から過去へ、映像がフラッシュバックしながら、各時代を代表する出来事を交えて石川の歴史を紹介している。



導入映像

I 豊かな自然となりわい

狩猟採集から米作りへ 豊かな大地に育まれた太古の暮らしを探る

1 森と海に生きる縄文人

- 縄文人の祈りと造形
- 謎の巨大木柱
- 気候変動と狩りの変化
- よみがえる縄文犬
- 海のなりわい
- 森のなりわい
- 漆工芸のはじまり

2 米作りと農耕社会の成立

- 水田稲作の伝来
- 弥生集落の風景
- 倭国大乱の時代
- 玉作りと鉄器の流通



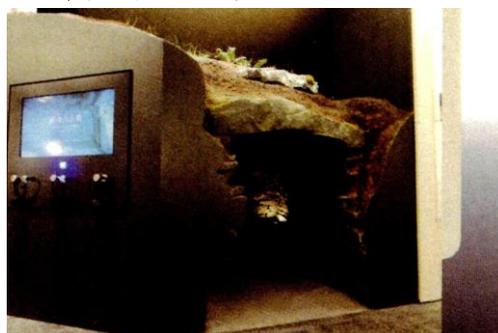
「よみがえる縄文犬」復元品

II 日本海を行き交う人びと

東アジアに広がる交流、日本海が醸し出す文化 加賀・能登の国の始まりを見つめる

1 日本海交流と東アジア

- 古墳の出現
- 加賀・能登の古墳と豪族
- 須曾蝦夷穴古墳と渡来文化
- 東アジアとの交流
- 渤海使と古代の湊
- 海を渡ってきたモノたち



蝦夷穴古墳模型

2 能登国・加賀国の誕生

- 律令制と地域史社会
- 加賀郡榜示札と農民の暮らし



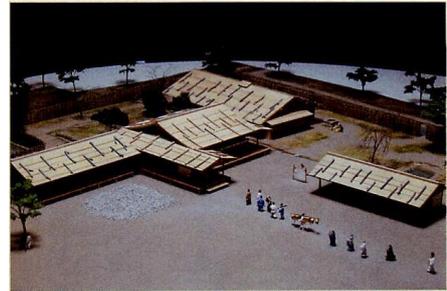
古代の御触書「加賀郡榜示札」

III 武士と一揆

武家政権の成立から加賀の一向一揆へ
くり返される戦乱の時代を生き延びた人びとの姿に迫る

1 武士の世へ

- 源平争乱と白山宮
- 堅田館跡
- 荘園と海のネットワーク
- 荘園のひろがり
- 珠洲焼



「堅田館－鎌倉時代の
加賀有力武士の館」模型

2 信仰の世界

- 加賀・能登の神と仏
- 新仏教の受容と展開
- 時宗
- 白山信仰
- 禅宗
- 石動山
- 日蓮宗

3 一揆の時代

- 能登畠山氏と七尾
- 戦国末期の能登情勢
- 加賀の一向一揆百年
- 大坂本願寺合戦と北陸
- 能登畠山氏
- 百姓ノ持タル国
- 長享の一揆
- 一向一揆の終局
- 七尾城下の繁栄
- 真宗のおこり
- 金沢御堂と寺内町
- 古文書にふれてみよう

IV 加賀藩の政治と文化

戦国の世から前田家の治世へ 安定した社会の中で育まれた文化生活の諸相をひもとく

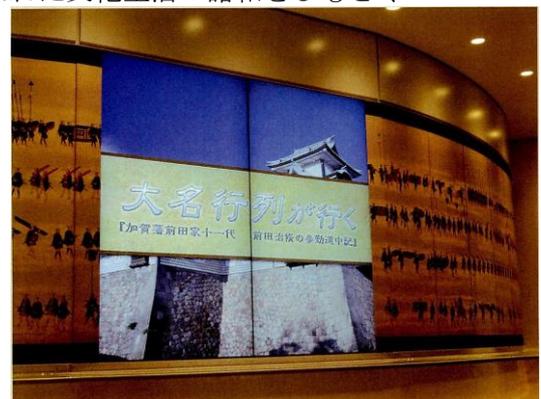
■ 天下人の時代

1 加賀藩の成立

- 加賀前田家と江戸幕府
- 藩士の身分
- 改作法と村御印
- 学問と教育
- 金沢城

2 加賀藩政の展開

- 城下町金沢
- 金沢町人のくらしと文化
- 北前船と加賀・能登



「大名行列が行く」大型パネル

3 幕末の加賀藩

- 藩財政の立て直し
- 村々の生活
- 飢饉と災害
- 海防と銃卒
- 幕末の混乱と加賀藩



城下町金沢の暮らしと町並み模型

第2展示室

V 近代国家と石川県

石川県の誕生、そして激動の時代へ
近代化の道のりと人びとの生活の変化をたどる

[近現代導入映像] (展示室入口)

1 武士の近代

- 石川県の誕生
- 「百万石」の武士から士族へ
- 紀尾井町事件
- 屯田兵と前田村

2 「美術工業」の時代

- 銅器会社と田中孫平
- 輸出工業
- 吉之助と米次郎
- 博覧会と博物館

3 日清・日露戦争と県民

- 日清戦争と兵士
- 日露戦争と県民
- ロシア軍捕虜の生活
- 北陸線と金沢駅
- 背囊を持ってみよう

4 特別名勝「兼六園」

5 デモクラシーとモダン

- 静かな米騒動
- 普通選挙と青年党
- モダニズムと大衆文化

6 戦争の時代と民衆

- 空襲をまぬがれた戦争
- 戦地と兵士
- 七七禁令と代用品
- 戦争と人びとの祈り
- 満蒙開拓の光と影

V 近代国家と石川県

7 復興と成長の日々

- 占領・引揚・復興
- 内灘闘争
- 高度成長から安定成長の時代へ
- 戦後の住宅政策と石川県



紀尾井町事件映像



特別名勝「兼六園」模型

VI 加賀・能登の祭り

神と人がひとつになる厳粛な世界 心浮き立つ勇壮華麗な世界
祭り文化の多様性を見つめる

1 神と人の饗宴

○県内の特色ある祭り料理[神饌]をテーマに展示している。



神饌

◇一宮の神饌

- 例大祭・夕御饌祭
- 平国祭

◇豊作への祈り

- ふきのと祭り
- もっそう祭り
- 十七夜祭り
- いどり祭り
- おけら祭り

◇生贄伝説の世界

- 如月祭
- 叩き堂祭り
- 青柏祭
- 小串祭り
- 春祭り
- 大幡郷社祭り
- 鯖踊り神事
- 弓引き祭り
- 猿鬼の遺品

2 祭礼風流の世界

○曳山や鉾・屋台・造り物・練り物など華やかな出し物をテーマに祭礼遺産を更新しながら展示している。

◇いしかわの祭礼風流

- 高松の長行灯
- 青柏祭
- 金沢の曳山
- 近江町の大行灯
- お旅祭り
- 華やかな祭礼練り物
- キリコ祭り
- 加賀・能登の地芝居
- 片町の絵行灯飾り
- 先触れ面

◇城下の祭礼と興行

- ハレの飾り
- ハレのガイドブック
- 幻の大祭
- 金沢の祭礼能
- 祭礼と興行
- 踊り唄の出版
- 百万石祭りの源流
- 金沢の獅子舞
- 軍隊・学校・会社の祝祭



祭礼体感シアター

◇祭礼体感シアター

(2) その他の施設

第1棟 歴史発見館

1階 休憩室・姉妹館交流コーナー

当館と韓国国立全州博物館の姉妹館交流について紹介している。

2階

特別展示室

自主企画展示のほか、話題性のある魅力的な大型展示を積極的に誘致する。

企画展示室

歴史博物館が所蔵する優品やコレクション、さらには常設展を補うテーマ性の高い内容を定期的に更新しながら展示する。

第2棟 交流体験館

1階 いしかわウェルカムラウンジ

総合案内・発券

ミュージアムショップ

歴史博物館のオリジナルグッズなどを販売する。



いしかわウェルカムラウンジ

建物 100 年ギャラリー

歴史博物館の建物である旧陸軍兵器庫兵器支廠について、建築当時やその後の保存修復などの写真を中心に、その歴史と重要文化財としての価値、魅力を紹介している。また、大きな窓ガラスからは、第3棟のレンガ壁や辰巳用水モニュメントを見渡することができる。

兼六園周辺文化の森模型

兼六園周辺に多数ある文化施設の情報や見どころを紹介し、周辺への回遊を促す。また、兼六園周辺の空撮写真や古地図から、地域の変遷を学習することができる。



石川歴史・観光マップ（タッチモニター）

もっと知りたい石川クイズ、石川県の観光情報、石川県の文化財の3つのコンテンツからなる。

兼六園周辺文化の森模型

なりきりショット

スクリーンに写しだされた絵画や古写真に画像に自身の顔を合成して、カメラで撮影して来館の記念にできる。

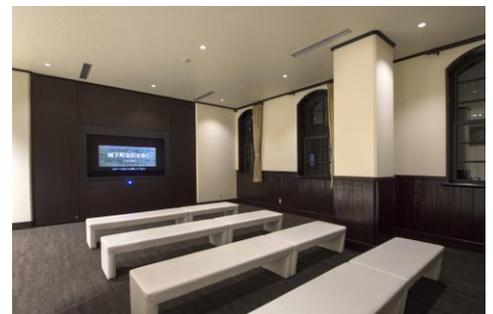
石川大パノラマ

大正～昭和前期にかけて全国各地の鳥瞰図を描いた吉田初三郎(1884～1955)が、石川県から依頼されて1933(昭和8)年に描いた「石川県鳥瞰図」を紹介。地図の中から21か所のポイントを選び、詳しい説明を加える。

1階 れきはくロビー

ミュージアムシアター

「金沢城下町を歩く」と題した映像番組を放映。加賀藩と城下町金沢の成立、城下町金沢の構造と特色、そして館蔵品の「金沢城下図屏風」をテーマとする。また、期間限定で特別展などに合わせた映像などを放映する。



ミュージアムシアター

ギャラリー

一般県民の皆様が展示活動に利用できる貸スペース。

2階 歴史体験ひろば・多目的ホール

実物資料や模型資料に直接触れ、また使ってみることによって、歴史の面白さを味わうことのできる体験コーナー。幼児から大人まで、幅広い年齢層が楽しむことができる。

また、多目的ホールとして、講演会やセミナー、ミニコンサートなどの行事を開催している。



歴史体験ひろば

主な体験メニュー

- ・昔の衣装体験—十二単の貴婦人、甲冑武士、武家のお姫様など
- ・昔の遊び体験—貝合わせ、盤双六、羽つきなど
- ・昔の乗り物で記念撮影—人力車、駕籠
- ・歴史資料に触れる体験—石器、土器、小判、十手など
- ・山の民家—囲炉裏、石臼、蓑笠、燭台など
- ・昔の学校—椅子、机、黒板、教科書、参考書など
- ・未就学児向け歴史体験(ひよこのひろば)—はにわボウリング、歴史まも当てなど

情報コーナー

歴史博物館の所蔵資料に関する情報（実物資料・文献資料・画像など）を提供。また、閲覧室や学習相談室としても活用することができる。

ワークショップルーム

実技講座をはじめ研究会・講習会・展示説明会など、幅広い年齢層の人びとが参加できる行事を開催している。

ほっとサロン

庭園の景色や建物の外観を眺めながら、ゆったりとくつろげる休憩コーナー。

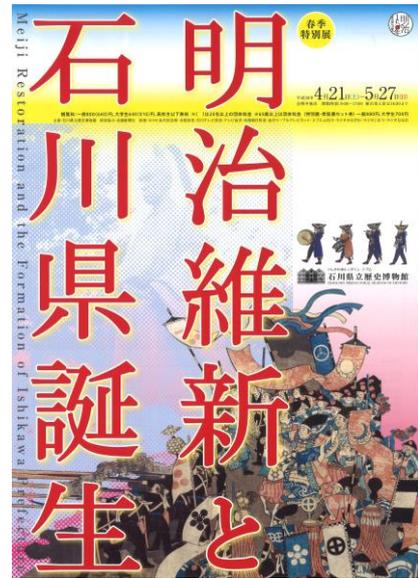


ほっとサロン

(3) 特別展

春季特別展 「明治維新と石川県誕生」

日本の近代の起点となった明治維新が、石川の地域社会の形成に大きな影響を及ぼしたことはないまでもありません。とくに、明治国家の骨組みが完成する明治20年代までは、その針路にいくつかの分岐点をはらむ激動の時代でした。本展覧会では、幕末の動乱から戊辰戦争、維新の諸変革への対応、士族の民権運動や西南戦争・紀尾井町事件（大久保利通暗殺事件）などの士族反乱、さらに明治16年（1883）に現在の石川県域が確定する過程をたどり、明治前期の政治・社会を地域の視点から紹介しました。



チラシ

会 期 平成30年4月21日（土）～5月27日（日） 会期中無休

時 間 9:00～17:00（展示室への入室は16:30まで）

観 覧 料 《春季特別展のみ》

一般 800円（640円）、大学生 640円（510円）、高校生以下無料

《春季特別展と常設展のセット料金》

一般 880円、大学生 700円

※（ ）内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金

会 場 特別展示室 企画展示室 ギャラリー

展示構成 序章 幕末の加賀藩 / 第1章 戊辰戦争から廃藩へ / 第2章 石川県の誕生 / 第3章 地租改正と民衆 / 第4章 士族の反乱 / 終章 幕末・維新时期の記憶

催 物

記念講演会①（聴講無料・申込不要）

「幕末・維新时期の銃砲製造の動向と加賀藩」

日 時：4月28日（土）13:30～15:00

講 師：東京大学人文社会系研究科・文学部教授

鈴木 淳氏

会 場：ワークショップルーム

聴講者：117名

ミュージアムウィーク特別講演会（聴講無料・要申込）

「西郷どんを書き終えて」

日 時：4月30日（月・振）13:30～15:00

講 師：林 真理子氏（作家）

会 場：石川県立能楽堂

聴講者：400名

※延期となり、8月26日（日）に実施

記念講演会②（聴講無料・申込不要）

「海外に雄飛した加賀侍の気概の源をさぐる」

日 時：5月12日（土）13:30～15:00

講 師：元石川県立歴史博物館 館長

徳田 寿秋氏

会 場：ワークショップルーム

聴講者：71名

石川の歴史遺産セミナー「百万石の明治維新を考える」

（聴講無料・要申込）

日 時：5月20日（日）13:00～17:00

会 場：ワークショップルーム

参加者：81名

展示解説 (要観覧料・申込不要)

日 時: 4月21日(土)、5月26日(土)
13:30~14:30

参加者: 4月21日: 23名、5月26日:
33名

ワークショップ

「多色摺り版画を作ってみよう」

日 時: 4月28日(土)~5月6日(日)
の土日祝日のみ

会 場: 歴史体験ひろば (参加無料・要申込)

参加者: 320名



展示風景



展示風景



記念講演会



展示解説



ギャラリー



ワークショップ

展示資料一覧

※重文は重要文化財、石川県文は石川県指定文化財、金沢市文は金沢市指定文化財、羽咋市文は羽咋市指定文化財。

番号	指定	資料名	年代	数量	コレクション名	所蔵
序章 幕末の加賀藩						
1		黒船来航瓦版（黒船図）	嘉永期	1点		本館
2		黒船来航瓦版	嘉永期	1点		本館
3		黒船来航瓦版	嘉永6年（1853）	1点		本館
4		北垂墨利加洪和政治洲上官真像之写	嘉永7年（1854）	1点		本館
5		北垂墨利加大大衆人上官肖像之写	嘉永7年（1854）	1点		本館
6		あめりかことば和解の写	嘉永7年（1854）	1点		本館
7		北垂墨利加大大衆国帝王より献上貢物品々	嘉永7年（1854）	1点		本館
8		日本力士名前	嘉永期	1点		本館
9		加州家等防策上書・御老中御触書写	嘉永6年（1853）	1点		石川県立図書館
10		天保十二年五月九日於武蔵国徳丸原高島四郎太夫西洋火砲打方御見分之図	年未詳	1点	河野文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
11		兵学に関する図説集 モルチール砲	弘化2年（1845）	1点	河野文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
12		兵学に関する図説集 ホーイッスル砲	弘化2年（1845）	1点	河野文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
13		ホーイッスル砲模型	年未詳	1点		金沢市立玉川図書館近世史料館
14		青銅キャノン砲と台座		1点		本館
15		砲丸（モルチール砲）、木箱	弘化期	1点		金沢市立玉川図書館近世史料館
16		前田齊泰 写真	明治期	1点		本館
17		前田慶寧公御写真	慶応期	1点		金沢市立玉川図書館近世史料館
18	石川県文	公武之間柄に付存知之趣上申控	文久2年（1862）	1点		前田土佐守家資料館
19	石川県文	社猶館砲術稽古書四 御国御軍艦発機丸御船印	安政3年（1856）	1点	加越能文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
20		前田慶寧退京につき前田齊泰親翰等留	元治元年（1864）	1点	河地文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
21	石川県文	前田直信へ前田慶寧謹慎申渡の使者申付状	元治元年（1864）7月	1点		前田土佐守家資料館
22	石川県文	前田慶寧へ謹慎申渡状	元治元年（1864）7月	1点		前田土佐守家資料館
23		前田慶寧書状 本多政均宛	慶応2年（1866）	1点		加賀本多博物館
24	石川県文	軍制に関する達書	慶応2年（1866）4月11日	1点	加越能文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
25	石川県文	小筒調練双六	慶応2年（1866）	1点		前田土佐守家資料館
第一章 戊辰戦争から廃藩へ						
26	石川県文	京都詰手中留 巻三	明治期	1点	加越能文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
27	石川県文	維新政府新職制覚	慶応4年（1868）	1点		前田土佐守家資料館
28	石川県文	御内々御尋并申上候品等覚	年未詳	1点	加越能文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
29	石川県文	御意之趣書抜	年未詳	1点	加越能文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
30		鳥羽伏見一件書上	慶応4年（1868）1月4日夕	1点	河地文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
31	石川県文	王政復古に付忠誠尽力徹底達状	慶応4年（1868）正月	1点		前田土佐守家資料館
32	石川県文	鳥羽伏見戦に付下賜状等写	慶応4年（1868）正月	1点		前田土佐守家資料館
33	石川県文	御親征御旗之図写	文久3年（1863）10月	3点		前田土佐守家資料館
34		毛理嶋山官軍大勝利之図（六枚続）	明治期	1点		本館
35	石川県文	北越戦争出兵沙汰書写	慶応4年（1868）4月	1点		前田土佐守家資料館
36	石川県文	北越戦争出陣中之軍律状控	慶応4年（1868）閏4月	1点		前田土佐守家資料館
37	石川県文	北越戦争絵図	明治期	1点		前田土佐守家資料館
38	石川県文	北越出師書類抄録 巻四	明治期	1点	加越能文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
39	石川県文	北越戦死者墳墓箇所絵図	明治期	1点	加越能文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
40	石川県文	北越戦争戦果感状写	慶応4年（1868）	1点		前田土佐守家資料館
41		加州藩小川隊北越出兵軍人交名表	明治15年（1882）	1点		本館
42		錦切	幕末～明治初期	2点		本館
43		筒袖陣羽織（小川大隊長軍装一式）	幕末～明治初期	1点		本館
44		エンフィールド銃 イギリス製	1866年	1点		本館
45		スナイドル銃	明治期	1点		本館
46		小銃銃弾（ピンファイヤー）	幕末～明治初期	一括		本館
47		加州隊旗	幕末～明治初期	1点		本館
48		小川隊旗	幕末～明治初期	1点		本館
49		軍服	幕末～明治初期	1点		本館
50		軍帽	幕末～明治初期	1点		本館
51		日記	慶応4年（1868）	1点	小川家文書	本館
52		小川隊北越出兵録 巻之参	明治期	1点	小川家文書	本館
53		奥越出兵図屏風 第二隻	明治2年（1869）	1点		個人
54		北越～出羽侵攻図	慶応4年（1868）	1点		本館
55		只見～若松侵攻図	慶応4年（1868）	1点		本館
56	羽咋市文	版籍照会二付加越村高・人数書上（版籍惣会録）	明治2年（1869）	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
57	羽咋市文	御一新二付、太政官等触書	明治2年（1869）	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
58		明治職員令井藩治職制	明治2年（1869）～4年	1点	森田文庫	石川県立図書館
59		金沢藩職員録	明治2年（1869）	1点	河地文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
60	石川県文	金沢藩大参事任命状	明治2年（1869）8月	1点		前田土佐守家資料館
61	石川県文	大参事職免除依頼状控	明治2年（1869）9月	1点		前田土佐守家資料館
62	石川県文	金沢藩大参事免官状	明治3年（1870）10月	1点		前田土佐守家資料館

63	石川県文	御一新以来国事に尽力に付下付状	明治3年(1870) 閏10月	1点		前田土佐守家資料館
64		五榜の掲示 高札(第一札、第二札、第三札)	慶応4年(1868)	3点		本館
65	羽咋市文	改政日記 御一新以来正租之事務等極要留	明治元(1868)~3年	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
66	羽咋市文	役儀免許以後、郡治局直支配辞令	明治2年(1869) 11月	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
67	羽咋市文	大参事等被見候節、御飾道具記	明治3年(1870) 3月	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
68		卯辰山開拓録	明治2年(1869)	1点		本館
69		本多政均暗殺二付山辺沖太郎・井口義平取調帳	明治4年(1871)	1点		石川県立図書館
70		本多政均遺書	明治2年(1869) 4月15日	1点		加賀本多博物館
71		本多弥一等岡野少属等ヲ及殺害候一件	明治4年(1871)	1点		石川県立図書館
72		本多家旧臣の口書	明治5年(1872)	4点		石川県立図書館
73		石川県士族本多弥一外六人・同辛吉見亥三郎外七人御仕置何書	明治5年(1872)	1点		石川県立図書館
74		自刃の刑の順次	明治5年(1872)	1点		石川県立図書館
75		山口直忠「加賀近江三所ノ警討」	明治7年(1874)	1点		石川県立図書館
76		浅井弘五郎所用刀	明治4年(1871)	1点		本館
77		本多弥一等遺墨	明治5年(1872)	1点		加賀本多博物館
78		金沢藩知事前田慶寧書状	明治4年(1871) 2月	1点		加賀本多博物館
79	石川県文	鹿藩置泉勅詔并前藩知事告諭	明治4年(1871)	1点	加越能文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
80	石川県文	海外渡航奨励に付勅書	明治4年(1871) 1月	1点		前田土佐守家資料館
81		前田利嗣と従者横浜出航時 写真	明治4年(1871) 撮影	1点		本館
82		前田慰子 写真	明治期	1点		本館
83		前田家繁栄之図(三枚統)	明治12年(1879)	1点		本館
84		新吉原仲の町梅の賑ひ(三枚統)	明治21年(1888)	1点	久世コレクション	石川県立美術館

第二章 石川県の誕生

85		金沢県下動揺届【公文録(副本)】	明治4年(1871) 11月	1点		国立公文書館
86		金沢県庁移転ノ儀二付何【公文録(副本)】	明治4年(1871) 12月	1点		国立公文書館
87		金沢県ヲ石川県ト改ム【太政類典】	明治5年(1872) 2月	1点		国立公文書館
88		官許 開化新聞	明治4年(1871)~5年	4点		本館
89		内田政風 写真	明治25年(1892) 撮影	1点		本館
90	重文	内田政風書簡 大久保利通宛(御用の御儀有之云々)	明治4年(1871) 9月5日	1点	大久保家資料	国立歴史民俗博物館
91	重文	内田政風書簡 西郷・大久保ほか宛(各位被為揃益御勇健云々)	明治4年(1871) 10月5日	1点	大久保家資料	国立歴史民俗博物館
92	重文	内田政風書簡 大久保利通ほか宛(被為揃益御勇健云々)	明治4年(1871) 10月16日	1点	大久保家資料	国立歴史民俗博物館
93	重文	内田政風書簡 大久保利通宛(堪而御伺も不申上云々)	(明治6年(1873) 10月23日)	1点	大久保家資料	国立歴史民俗博物館
94		草薙尚志辞令(石川県中属、東京出張所詰)	明治6年(1873) 10月	1点		本館
95	石川県文	県治概論	明治5年(1872)	1点		前田土佐守家資料館
96		石川県編『御誓文五箇条ノ和解』	明治5年(1872)	1点		本館
97		石川県管内図	明治11年(1878)	1点		本館
98		流行不流行見立(金沢珍聞)	明治12年(1879)	1点		本館
99	羽咋市文	御布令等抜粋	明治5年(1872)	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
100		文部省天文局版曆	明治6年(1873)	1点		本館
101		太陽曆	明治6年(1873)	1点		本館
102		石川県治概表	明治7年(1874)	1点		本館
103		加州金沢製糸場之図(外観)(内観)	明治7年(1874)	2点		本館
104		島津久光ほか建白書写	明治8年(1875)	1点	小川家文書	本館

第三章 地租改正と民衆

105		五榜の掲示 高札(第五札)	慶応4年(1868)	1点		本館
106		神田孝平著『田税新法』	明治5年(1872)	1点		国税庁税務大学校租税史料室
107		地所売買譲渡二付地券渡方規則・規則増補	明治5年(1872) 2月	1点	本岡文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
108		壬申地券(市街地・郡村)	明治6年(1873~9)年	5点		本館
109	石川県文	地方御詮義願之事	明治6年(1873)	1点	十村後藤家文書	本館
110		明治八年符津村割地関係資料	明治8年(1875)	一括		国税庁税務大学校租税史料室
111	羽咋市文	地租改正二付陳情書	明治8年(1875) 9月	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
112		草薙尚志辞令(石川県中属、依頼免出仕)	明治8年(1875) 9月	1点		本館
113		畝杭	明治8年(1875)	1点		国税庁税務大学校租税史料室
114		量地盤	明治6年(1873) 作製	1点		射水市新湊博物館
115		量地盤台	明治6年(1873) 作製	1点		射水市新湊博物館
116		地割紙	明治6年(1873) 作製	1点		射水市新湊博物館
117		五十嵐篤好著『地方 新器測量法』	安政4年(1857)	1点		本館
118		地租改正で用いた測量具	明治9年(1876) 3月	一式		福井県立歴史博物館
119		地租改正測量に付、定木	明治9年(1876) 1月	2点		福井県立歴史博物館
120		測板式測量器具	明治後期-昭和初期(昭和22年以前のもの)	1点		国税庁税務大学校租税史料室
121		矢立	明治期	1点		国税庁税務大学校租税史料室
122		能登国第十五区小三区鳳至郡乙ヶ崎村地内見取絵図	明治8年(1875)	1点		国税庁税務大学校租税史料室
123		珠洲郡木郎村大字宮犬地図	明治12年(1879)	1点		国税庁税務大学校租税史料室
124	羽咋市文	鳳至・珠洲両郡反別等書上(能登四郡地租改正反別・収穫米調査書上)	明治8年(1875)	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
125	羽咋市文	地租改正歩数合盛写	明治8年(1875)(明治23年に写)	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
126	羽咋市文	石川郡村別・反別地価等覚書	明治前期	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
127		地券台帳(加賀国第二十七区粟生村外四ヶ村)	明治前期	1点		国税庁税務大学校租税史料室
128	羽咋市文	地租改正法目録等留書	明治11年(1878)	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館

129	地券状箱 (鳳至郡井守上坂村 坂井家)	明治18年 (1885)	1点		国税庁税務大学校租税史料室
130	石川県下騒擾届三条【公文録 (副本)】	明治10年 (1877) 2月	1点		国立公文書館
131	三重県暴徒一覽 (三枚統)	明治10年 (1877)	1点	久世コレクション	石川県立美術館
132	石川県下越中国新川郡其外市街地租改正届【公文録 (副本)】	明治11年 (1878) 1月	1点		国立公文書館
133	第二代石川県令 桐山純孝 写真		1点		本館
134	越中国、能登国、加賀国、越前国之内七郡石川県下地租改正新旧税額比較表	明治10年 (1877) 頃	1点		国税庁税務大学校租税史料室
135	等級反別記載 (載) 表	明治10年 (1877) 8月	1点		福井県立歴史博物館
136	石川県の収獲見据 (査定) 状	明治13年 (1880) 10月	1点		福井県立歴史博物館
137	羽咋市文 福井支庁大区各村、新旧租比較表	明治11年 (1878)	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
138	杉田定一著『経世新論』	明治13年 (1880)	1点		本館
139	石川県下越前国坂井郡外四郡改租不服二付処分【太政類典】	明治12年 (1879) 8月	1点		国立公文書館
140	地租改正地価之儀二付願	明治12年 (1879) 11月	2点		福井県立歴史博物館
141	第三代石川県令 千坂高雅 写真		1点		本館
142	越前七郡再調手續 (南条郡)	明治13年 (1880)	1点		福井県立歴史博物館
143	羽咋市文 石川県職員録	明治12年 (1879)	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
144	羽咋市文 福井支庁内村々巡回日記	明治10年 (1877) 頃	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
145	羽咋市文 地租改正御用二付、福井出張所巡回覚書 (越前国出張並七郡巡回覚書)	明治10年 (1877) 6月	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
146	羽咋市文 三大新法等抜書	明治11年 (1878) 頃	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
147	羽咋市文 改租掛任命辞令	明治12年 (1879)	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
148	羽咋市文 兼地券掛任命辞令 (封筒有)	明治12年 (1879)	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
149	羽咋市文 御用二付礼服二て出庁之事 (封筒有)	明治13年 (1880) 10月	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館

第四章 土族の反乱

150	禄高改正割合略図	明治期	1点		個人
151	羽咋市文 土族給禄高調理書	明治4年 (1871) 7月	1点	十村加藤家文書	羽咋市歴史民俗資料館
152	金禄公債証書発行条例【太政類典】	明治9年 (1876) 8月	1点		国立公文書館
153	改訂 徴兵令	明治8年 (1875)	1点		本館
154	徴兵令規、組合惣代事務規程	明治16年 (1883)	1点		金沢市立玉川図書館近世史料館
155	忠告社発会案文	明治8年 (1875)	1点	小川家文書	本館
156	忠告社規則	明治8年 (1875)	1点	小川家文書	本館
157	忠告社趣意書 『石川新聞』七十二号付録	明治8年 (1875) 1月	1点		石川県立図書館
158	石川県文 北陸鉄道会社設立発起に付旧藩士族中へ勸奨方依頼書	明治14年 (1881)	1点		前田土佐守家資料館
159	西海揚波起源 (三枚統)	明治10年 (1877)	1点		本館
160	日本略史図 前原一誠	明治11年 (1878)	1点	久世コレクション	石川県立美術館
161	西南役二関スル警部中原尚雄等口供書 (横地永太郎手写)	年未詳	1点		石川県立図書館
162	西南役熊本籠城図幅近藤樵仙筆	大正15年 (1926)	1点		個人
163	熊本籠城詩 (陸軍中將子爵 谷干城書)	明治10年 (1877)	1点		本館
164	鹿児島暴徒 高橋井川尻戦争ノ図 (三枚統)	明治10年 (1877) 頃	1点	久世コレクション	石川県立美術館
165	鹿児島島の賊軍熊本城激戦図 (三枚統)	明治10年 (1877) 4月	1点		本館
166	鹿児島征討戦記 (三枚統)	明治10年 (1877) 頃	1点	久世コレクション	石川県立美術館
167	明治十年七月 日薩新報 (三枚統)	明治10年 (1877)	1点		本館
168	西南暴徒都城二集合 (二枚統)	明治10年 (1877) 頃	1点	久世コレクション	石川県立美術館
169	日向血戦之酒催 (三枚統)	明治10年 (1877) 8月	1点		本館
170	鹿児島賊徒平定図 (三枚統)	明治10年 (1877) 10月	1点		本館
171	隆盛冥府大改革 (三枚統)	明治10年 (1877) 12月	1点		本館
172	隆盛男出陣之図 (二枚統)	明治10年 (1877) 頃	1点	久世コレクション	石川県立美術館
173	西国鎮撫 諸將賜天盃之図 (三枚統)	明治10年 (1877) 12月	1点	久世コレクション	石川県立美術館
174	石川県文 鹿児島凱陣双六	明治10年 (1877)	1点		前田土佐守家資料館
175	島田一郎 写真	明治期	1点		本館
176	島田一郎・杉本乙菊 写真	明治期	1点		本館
177	襄輪隊北越出兵録	明治期	1点	小川家文書	本館
178	長連豪 写真	明治期	1点		個人
179	杉本乙菊 写真	明治期	1点		個人
180	杉本乙菊・脇田巧一・杉村文一 写真	明治期	1点		個人
181	休物議安民心議建白書	明治7年 (1874) 3月	1点	河地文庫	金沢市立玉川図書館近世史料館
182	島田一郎「時活一郎」書幅	明治8年 (1875)	1点		本館
183	金沢ノ景況報告書写進達	明治10年 (1877) 3月	1点	岩倉具視関係文書	国立公文書館
184	斬姦状 (島田一郎首唱)	明治11年 (1878)	1点		本館
185	重文 御巡行沿道之各県内示之大意	明治11年 (1878)	1点	大久保家資料	国立歴史民俗博物館
186	重文 濟世遺言 附跋文	明治11年 (1878)	1点	大久保家資料	国立歴史民俗博物館
187	重文 東京日日新聞	明治11年 (1878)	1点	大久保家資料	国立歴史民俗博物館
188	重文 千坂高雅等追悼文	明治31年 (1898)	1点	大久保利通関係資料	国立歴史民俗博物館
189	川路大警視大久保参議事変二付進退伺【公文録 (副本)】	明治11年 (1878) 5月	1点		国立公文書館
190	石川県士族島田一郎外五名及連累ノ者処刑併届二条【公文録 (副本)】	明治11年 (1878) 7月	1点		国立公文書館
191	石川県士族島田一郎等犯罪処断【太政類典】	明治11年 (1878) 7月	1点		国立公文書館
192	紀尾井坂一件留	明治11年 (1878)	1点		石川県立図書館
193	島田一郎遺言状	明治11年 (1878)	1点		本館
194	島田一郎ほか獄中手記	明治11年 (1878)	1点		本館
195	島田一郎「大赦証明書」	明治22年 (1889)	1点		本館

196		北陸東海兩道御巡幸名所図会（三枚続）	明治11年（1878）	1点		国立歴史民俗博物館
197		北陸東海御巡幸御発給之図（三枚続）	明治11年（1878）	1点		国立歴史民俗博物館
198		北陸東海御巡幸石川県下越中黒部川図錦絵（三枚続）	明治11年（1878）	1点		本館
199		石川県県治改革ノ件「公文別録」	明治15年（1882）	1点		国立公文書館
終章 幕末・維新期の記憶						
200	石川県文	卯辰八幡社移転趣意書	明治5年（1872）	1点		前田土佐守家資料館
201	石川県文	神官辞令	明治6年（1873）	1点		前田土佐守家資料館
202	石川県文	前田直信 写真	明治初期	1点		前田土佐守家資料館
203		金谷御庭之絵図	幕末～明治初期	1点		本館
204		尾山神社境内の図（尾山の栄）	明治6年（1873）	1点		本館
205	金沢市文	尾山神社神門設計原図	明治初期	1点		金沢市立玉川図書館近世史料館
206	石川県文	尾山神社神門 写真	明治期	1点		前田土佐守家資料館
207	石川県文	金沢藩元治勤王者氏名覚	明治4年（1871）以前	1点		前田土佐守家資料館
208		横地永太郎「小川幸三尽忠録」	昭和3年（1928）	1点		石川県立図書館
209		前田慶寧像「加越能維新勤王家表彰標」絵葉書	昭和初期	2点		本館
210		加越能維新勤王史略	昭和5年（1930）	1点		本館
211		卯辰山招魂社碑の拓本	年未詳	1点		本館
212	石川県文	石川県招魂社奉賛会評議員囑託状	昭和8年（1933）	1点		前田土佐守家資料館
213		戊辰北越戦役資料展覧会目録	昭和12年（1937）	1点		本館
214		戊辰北越戦役資料展覧会 写真	昭和12年（1937）撮影	4点		本館
215		日本武尊像絵図	明治13年（1880）10月	1点		本館
216		日本武尊像「明治紀念之標」絵葉書	明治期	3点		本館
217		梅雨日記	明治12年（1879）	5点		本館
218		梅雨日記引札	明治12年（1879）	1点		本館
219		島田一郎高橋お伝錦絵	明治期	1点		本館
220		島田一郎梅雨日記	明治24年（1891）	1点		本館
221		御参詣人名簿	昭和2年（1927）	2点		個人
222		弔辞／包紙入	昭和2年（1927）	3点		個人
223		紀尾井坂事変	昭和2年（1927）	1点		石川県立図書館
224		紀尾井坂事変裁判二関スル書類	昭和4年（1929）	1点		石川県立図書館
225		「島田一良の妄挙」	昭和2年（1927）	1点		石川県立図書館
226		横地永太郎「島田一良の性行」	昭和2年（1927）	1点		石川県立図書館
227		横地永太郎「長連豪の性行」	昭和2年（1927）	1点		石川県立図書館

夏季特別展
「発掘された日本列島 2018」

日本各地で毎年約 8000 件の遺跡の発掘調査が行われている。この展覧会では、近年発掘された遺跡や調査成果のまとまった注目の遺跡を速報で展示した。さらに、特集展示として、墓室に文様や彩色が施された装飾古墳の魅力とその保護の取り組みも紹介した。

石川県内でも、北陸新幹線の建設や史跡整備等に伴う発掘調査で重要な発見が相次いでいる。全国を巡回する中核展示に加えて、県内遺跡の調査成果を紹介する地域展示「いしかわ歴史発掘」も同時に開催した。



チラシ

主催 文化庁・石川県立歴史博物館・北國新聞社・全国新聞社事業協議会
会期 平成 30 年 8 月 4 日（土）～9 月 9 日（日） 会期中無休
時間 9：00～17：00（展示室への入室は 16：30 まで）
観覧料 《夏季特別展のみ》
 一般 800 円（640 円）、大学生 640 円（510 円）、高校生以下無料
 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金、65 歳以上は団体料金
 《夏季特別展と常設展のセット料金》
 一般 880 円、大学生 700 円
会場 特別展示室・企画展示室
展示構成 1. 中核展示（全国巡回展） ①新発見考古速報 ②特集 装飾古墳を発掘する！
 2. 地域展示「いしかわ歴史発掘」（当館のみ開催）

関連行事 **記念講演会**（聴講無料・申込不要）
 『発掘された日本列島 2018』展の見どころ
 日時：8 月 4 日（土）13：30～15：00
 講師：文化庁記念物課文化財調査官 藤井 幸司 氏
 会場：ワークショップルーム
 参加者：40 名

ワークショップ（参加無料・申込不要・各回先着 100 名）
 「自分だけのカラフル土偶をつくろう」
 日時：8 月 5 日（日）・12 日（日）・19 日（日）・26 日（日）
 10：00～16：00
 会場：ワークショップルーム
 参加者：400 名

展示解説（要観覧料・申込不要）
 日時：8 月 11 日（土）・25 日（土）、9 月 1 日（土）・8 日（土）
 13：30～14：30
 参加者：8 月 11 日：22 名、25 日：23 名
 9 月 1 日：16 名、8 日：14 名

子ども体験コーナー（参加無料・申込不要）
 「遺跡のナゾときにトライ！」
 日時：8 月 4 日（土）～9 月 9 日（日）
 9：00～17：00
 会場：ギャラリー
 参加者：897 名



展示風景（中核展示）



展示風景（新発見考古速報）



展示風景（新発見考古速報）



展示風景（特集 装飾古墳を発掘する！）



展示風景（地域展示）



展示風景（地域展示）



子ども体験コーナー「遺跡のナゾときにトライ！」



ワークショップ「自分だけのカラフル土偶をつくろう」

発掘された日本列島2018 中核展示 展示品一覧

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵
1	細石刃	15	鹿児島県大崎町天神段遺跡	公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター
	細石刃核	10		
	接合資料	5		
	ナイフ形石器	8		
	台形石器	8		
2	尖頭器	130	新潟県津南町本ノ木遺跡	津南町教育委員会
	石斧	3		
	挟入削器	11		
	搔器	7		
	縄文土器	2		
3	縄文土器	13	千葉県千葉市加曽利貝塚	千葉市立加曽利貝塚博物館
	土偶	4		
	土製品	1		
	石製品	7		
	石器	1		
	骨角歯牙製品	19		
	貝製品	4		
	埋葬イヌ	1		
	剥ぎ取り貝層断面	1		
4	骨角製品	29	愛知県田原市保美貝塚	田原市博物館
	貝製品	8		
	現生標本	2		
	石製品	6		
	石鏃	25		
5	赤漆塗木製剣柄	1	熊本県熊本市上代町遺跡群	熊本市文化振興課
	同上 盤部	1		
6	鋳型	8	福岡県春日市須玖タカウタ遺跡	春日市教育委員会
	鋳型レプリカ	5		
	鋳型復元品	1		
	青銅器復元品	1		
	青銅器 参考資料	3		
7	銅鐸	1	三重県津市・松阪市雲出川下流域遺跡群	三重県埋蔵文化財センター 津市埋蔵文化財センター 松阪市文化財センター
	銅鐸片	1		
	弥生土器	28		
	銅鐸形土製品	1		
	石杵	1		
	銅鏃	1		
	銅滓	1		
8	冑	1	群馬県渋川市金井東裏遺跡	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
	祭祀土器	14		
	石製模造品	11		
	甲着裝人骨レプリカ	1		
	2号甲レプリカ	1		
9	人物埴輪	4	群馬県藤岡市神田・三本木古墳群	藤岡市教育委員会
	円筒埴輪	2		
10	鴟尾片	6	福岡県築上町船迫窯跡	築上町教育委員会
	鴟尾レプリカ	1		
	軒丸瓦	1		
11	軒瓦	9	東京都国分寺市・府中市武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡	国分寺市教育委員会
	刻印瓦	2		
	文字瓦	6		
	鬼瓦	2		
	銅鈴	1		
	銅造観世音菩薩立像	1		
緑釉花文皿	1			

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵
11	須恵器	5	東京都国分寺市・府中市武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡	国分寺市教育委員会
	円面硯	1		
	鉄滓	2		
	鞆羽口	1		
	埴塙	1		
	砥石	1		
	帯金具	1		
	鉄製品	2		
	土師器	1		
12	軒瓦	10	大阪府八尾市由義寺跡	公益財団法人八尾市文化財調査研究会
	鬼瓦	2		
	凝灰岩切石	1		
13	青磁唾壺	1	大分県玖珠町四日市遺跡	大分県立埋蔵文化財センター
	隅入方鏡	2		
	土師器	3		
	鉄釘	14		
14	陶磁器	15	岩手県野田村伏津館跡	公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
	風炉	1		
	温石	1		
	琵琶陽刻石硯	1		
	石鉢	1		
	茶臼	2		
	金属製品	3		
	銅銭	6		
15	棟端瓦	1	京都府京都市公家町遺跡	京都市文化財保護課
	土師器	2		
	陶磁器	30		
	銅製品	8		
	石硯	1		
16	東六甲石丁場跡模型	1	兵庫県西宮市・芦屋市大坂城石垣石丁場跡	西宮市教育委員会
17	石臼	1	鹿児島県霧島市・瀬戸内町旧薩摩藩の近代化遺産	鹿児島県立埋蔵文化財センター
	煉瓦	10		
18	パネル		福島県南相馬市羽山横穴	
19	パネル		福岡県桂川町王塚古墳	
20	馬具	6	福岡県みやこ町皆見大塚古墳	九州歴史資料館
	単鳳環頭大刀	1		
	鉄鏃	9		
	耳環	2		
	玉類	3		
	須恵器	7		
21	パネル		福島県双葉町清戸迫横穴	
22	パネル		宮城県山元町合戦原遺跡	
23	パネル		熊本県嘉島町井寺古墳	
24	パネル		熊本県熊本市釜尾古墳	

地域展示「いしかわ歴史発掘」 展示品一覧

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵
1-1	縄文土器深鉢	1	津幡町北中条遺跡	津幡町教育委員会
1-2	縄文土器浅鉢	1		
1-3	縄文土器注口	2		
1-4	土偶	2		
1-5	石鏃	5		
1-6	打製石斧	1		
1-7	磨石	1		
1-8	石皿	1		
1-9	石冠	1		

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵
2-1	弥生土器甕	1	小松市八日市地方遺跡	石川県埋蔵文化財センター
2-2	弥生土器壺	1		
2-3	柄付き鉄製鉈	1		
2-4	石庖丁	1		
2-5	石剣	1		
2-6	線刻砥石	1		
2-7	石鋸	1		
2-8	石針	3		
2-9	玉砥石	1		
2-10	翡翠製勾玉未成品	3		
2-11	碧玉製管玉未成品	5		
2-12	翡翠製垂飾	1		
2-13	碧玉製管玉	20		
3-1	弥生土器甕	1	金沢市薬師堂遺跡	金沢市埋蔵文化財センター
3-2	弥生土器壺	1		
3-3	弥生土器革袋形	1		
3-4	弥生土器蓋	1		
3-5	戈形木製品	1		
3-6	鋏未成品	1		
4-1	銅鏃未成品	2	加賀市八日市遺跡	石川県埋蔵文化財センター
4-2	湯口ばり	1		
4-3	鋳型	4		
4-4	送風管・鞆羽口	4		
4-5	鋳滓	3		
4-6	砥石	2		
5-1	鉄刀	1	能美市秋常山2号墳	能美市教育委員会
5-2	鉄柄刀子	1		
5-3	鉄製鉈	1		
5-4	鉄斧	1		
5-5	鉄鑿	1		
5-6	滑石製白玉	一括		
5-7	円筒埴輪	3		
5-8	朝顔形円筒埴輪	1		
5-9	刻書須恵器高坏	1		
5-10	刻書須恵器壺	1		
			能美市和田山23号墳	
6-1	須恵器蓋坏	1	加賀市三木5号墳	加賀市教育委員会
6-2	須恵器高坏	1		
6-3	須恵器短頸壺	1		
6-4	須恵器広口壺	1		
6-5	須恵器甕	1		
6-6	須恵器提瓶	1		
7-1	軒丸瓦	1	野々市市末松廃寺跡	野々市市教育委員会
7-2	平瓦	1		
7-3	須恵器坏蓋	1		
7-4	須恵器坏身	1		
8-1	軒丸瓦	1	能美市湯屋B支群1号窯跡	能美市教育委員会
8-2	平瓦	1		
8-3	須恵器坏蓋	1		
8-4	須恵器坏身	1		
9-1	墨書土器「稻依」	1	金沢市大友E遺跡	金沢市埋蔵文化財センター
9-2	墨書土器「井」	1		
9-3	墨書土器「大」	1		
9-4	墨書土器「案主」	1		
9-5	墨書土器「田舎」	1		
9-6	漆紙文書付着土器	1		
9-7	緑釉陶器皿	1		

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵	
9-8	人形	3	金沢市大友E遺跡	金沢市埋蔵文化財センター	
9-9	銅製巡方	1			
9-10	石製巡方	1			
10-1	加賀郡勝示札	1	津幡町加茂遺跡	石川県埋蔵文化財センター	
10-2	墨書土器「英太」	1			
10-3	墨書土器「正月」	1			
10-4	墨書土器「真継」	1			
10-5	墨書土器（習書）	1			
10-6	和同開珎銀錢	1			
10-7	心葉形金具	1			
10-8	銅製巡方	2			
10-9	鴟尾	2			
10-10	鬼瓦	1			津幡町教育委員会
10-11	軒丸瓦	1			
10-12	軒平瓦	1			
11-1	海獣葡萄鏡	1	羽咋市寺家遺跡	石川県埋蔵文化財センター	
11-2	狻猊鏡	1			
11-3	素文鏡	1			
11-4	鉄鐸	1			
11-5	舟形鉄製品	1			
11-6	ガラス埴塼	1			
11-7	三彩陶器小壺	3			
11-8	墨書土器「宮厨」	1			
11-9	墨書土器「司館」	1			
11-10	墨書土器「神」	1			羽咋市教育委員会
11-11	軒丸瓦	3			
11-12	瓦塔	2	羽咋市柳田シャコダ廃寺跡		
12-1	灰釉陶器耳皿	1	七尾市古府・国分遺跡	石川県埋蔵文化財センター	
12-2	緑釉陶器碗	1			
12-3	須恵器小壺	1			
12-4	風字硯	1			
12-5	転用硯	1			
12-6	瓦塔	2			
12-7	土馬	2			
12-8	墨書土器「市殿」	1	七尾市古府ヒノバンデニバン遺跡		
12-9	鞍	2	七尾市千野林田遺跡	七尾市教育委員会	
13-1	木製板碑	1	珠洲市野々江本江寺遺跡	石川県埋蔵文化財センター	
13-2	木製笠塔婆 竿	1			
13-3	木製笠塔婆 額	1			
14-1	青磁碗	1	白山市宮保館跡・宮保B遺跡	石川県埋蔵文化財センター	
14-2	青磁皿	2			
14-3	白磁碗	1			
14-4	瀬戸美濃灰釉碗	1			
14-5	瀬戸美濃灰釉合子	1			
14-6	土師器皿	2			
14-7	烏帽子	2			
14-8	鉄刀	1			
14-9	基石	3			
15-1	瀬戸美濃天目茶碗	1	七尾市七尾城跡	石川県埋蔵文化財センター	
15-2	瀬戸美濃灰釉皿	1			
15-3	瀬戸美濃灰釉香炉	1			
15-4	円面硯	1			
15-5	線刻画硯	1			
15-6	赤漆塗鎧部品	13			
15-7	黒漆塗革小札	1			
15-8	鉄砲玉	1			

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵
15-9	金溶解坩堝	1	七尾市七尾城跡	石川県埋蔵文化財センター
15-10	金箔	一括		
15-11	青磁花生	1		七尾市教育委員会
15-12	白磁八角坏	1		
15-13	鞆羽口	2		
15-14	鉄滓	1		
16-1	青磁透文四方鉢	1	加賀市九谷磁器窯跡	石川県埋蔵文化財センター
16-2	白磁鳳凰文台鉢	1		
16-3	染付梅鉢文皿	1		
16-4	染付碗	1		
16-5	色見	3		
16-6	色絵磁器	3		
16-7	刻銘素焼方形鉢	1		加賀市教育委員会
16-8	匣鉢蓋	1		
16-9	匣鉢	1		
16-10	トチン	2		
16-11	陶石	4		
16-12	朱石	一括		
17-1	九谷染付碗	2	小松市大川遺跡	石川県埋蔵文化財センター
17-2	九谷染付大皿	2		
17-3	九谷染付皿	1		
17-4	九谷色絵碗	2		
17-5	九谷色絵大皿	1		
17-6	九谷白磁碗	1		
17-7	九谷白磁皿	1		
17-8	肥前染付碗	2		
17-9	肥前染付皿	1		
18-1	石製水鉢	1	金沢市金沢城跡（玉泉院丸庭園）	石川県金沢城調査研究所
18-2	海鼠漆喰	1	金沢市金沢城跡（鼠多門）	
18-3	腰瓦	1		
18-4	鉛瓦（軒丸瓦）	1		
19-1	越前大甕	1	金沢市金沢城下町遺跡 （東兼六町5番地区）	石川県埋蔵文化財センター
19-2	信楽四耳壺	1		
19-3	蔵骨器	1		
19-4	籠甲製櫛	1		
19-5	籠甲製簪	1		
19-6	籠甲製眼鏡	1		
19-7	柄鏡	1		
19-8	ミニチュア染付碗	2		
19-9	ミニチュア急須	1		
19-10	ミニチュア籠・羽釜	2		
19-11	磁器水滴	1		
19-12	土人形	2		
19-13	寛永通宝	6		
20-1	九谷染付碗	1	金沢市宝町遺跡	金沢大学埋蔵文化財調査センター
20-2	九谷色絵碗	1		
20-3	九谷暦手碗	2		
20-4	漆器椀	1		
20-5	焼塩壺	2		
20-6	煙管	2		
20-7	下駄	2		
20-8	土人形	8		
20-9	独楽	3		

秋季特別展
歌舞伎衣裳 綺羅をまと

本展では、金沢で現在確認できる唯一の歌舞伎衣裳として、芝居小屋「福助座」とその興行師梅若ゆかりの衣裳約40点を公開し、往時の金沢歌舞伎の繁栄を、芝居番付などの関連資料とともに紹介しました。あわせて、江戸城大奥で活躍したお狂言師（女役者）の衣裳、明治～昭和初期の名優が着用した衣裳、各地の地芝居の衣裳を一堂に公開し、歌舞伎衣裳の魅力をご堪能いただきました。



チラシ

- 会 期** 平成30年9月22日（土）～11月11日（日）
前期：9月22日（土）～10月14日（日） 後期：10月16日（火）～11月11日（日）
※10月15日（月）は展示替えのため閉室
- 時 間** 9:00～17:00（展示室への入室は16:30まで）
- 観 覧 料** 《秋季特別展のみ》
一般 800円（640円）、大学生 640円（510円）、高校生以下無料
《秋季特別展と常設展のセット料金》
一般 880円、大学生 700円
※（ ）内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金、※前期の有料チケット半券提示で後期は200円割引
- 会 場** 特別展示室・企画展示室
- 展示構成** 序章 大奥の御狂言師 / 第1章 明治から昭和 名優の衣裳
第2章 地芝居と衣裳 / 第3章 梅若の衣裳と福助座
- 催 物** **記念講演会**（聴講無料・申込不要）
「絵でみる歌舞伎の装い」
阿国から助六まで
日 時：10月8日（月・祝）13:30～15:00
講 師：関西学院大学文学部教授 河上 繁樹 氏
会 場：ワークショップルーム
聴講者：38名
- ワークショップ**（参加費300円・要申込）
「加賀刺繍でマカロンストラップを作ろう」
日 時：10月27日（土）10:30～16:00
講 師：加賀繡工房 椿 伝統工芸士 穴田 節代 氏
会 場：ワークショップルーム
参加者：20名
- 展示解説**（要観覧料・申込不要）
日 時：10月6日（土）・11月3日（土・祝）
13:30～14:30
参加者：10月6日：20名
11月3日：35名
- 地歌舞伎にふれるバスツアー（要参加料・要申込）
日 時：9月28日（金）→中止
- 体験コーナー「歌舞伎であそぼう！」**
①歌舞伎役者になってみよう 参加者：321人
小忌衣・四天を着てみよう（衣裳体験）
役者の“乗り込み”の駕籠体験
②あなたも衣裳デザイナー 参加者：422人
日時：会期中
会場：歴史体験ひろば



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



開幕式



歌舞伎であそぼう・あなたも衣裳デザイナー



展示解説



歌舞伎で遊ぼう・衣裳体験

秋季特別展「歌舞伎衣裳 綺羅をまとう」出品一覧

番号	枝番	展示期間	名称	数量	時代	法量	所蔵	備考
序章－大奥の御狂言師								
1	1	前期	萌黄縹子地的矢文様羽織	1領	江戸時代(19世紀)	110.6×65.0	東京国立博物館	坂東三津江着用
	2		萌黄縹子地着付(三若荷紋付)	1領	江戸時代(19世紀)	144.2×65.0	東京国立博物館	坂東三津江着用
2		後期	紅縮緬地桜流水文様振袖	1領	江戸時代(19世紀)	183.3×62.0	東京国立博物館	坂東三津江着用
3		後期	淡紅縹子地立雛貝桶文様襦袢	1領	江戸時代(19世紀)	44.8×63.0	東京国立博物館	坂東三津江着用
4		前期	紅縮緬地流水山吹文様襦袢	1領	江戸時代(19世紀)	48.5×60.6	東京国立博物館	坂東三津江着用
I. 明治から昭和 名優の衣裳								
5		前期	紫地唐花唐草石畳文様珍直垂	1領	明治時代後期	66.0×70.0(袴)丈91.0×腰幅28.0	三越伊勢丹	九代目市川團十郎着用
6		後期	黒縹子地雪持竹南天雀文様打掛	1領	昭和時代初期	188.0×70.5	三越伊勢丹	五代目中村歌右衛門着用
7		前期	白木綿地雲龍波濤文様襦袢	1領	昭和時代初期	151.0×66.5	三越伊勢丹	五代目中村歌右衛門着用
8		10/30~11/11	黒呉縞服連地雲龍宝尺文様唐人服	1領	大正末~昭和初期	150.0×82.0	三越伊勢丹	七代目松本幸四郎着用
9	1	前期	黒木綿地丸龍入格子文様羽織	1領	昭和時代初期	101.0×67.0	三越伊勢丹	七代目松本幸四郎着用
	2		黒木綿地丸龍入格子文様着付	1領	昭和時代初期	148.0×66.5	三越伊勢丹	七代目松本幸四郎着用
10		10/16~10/29	黒縹子地正月飾文様打掛	1領	昭和時代初期	190.0×70.0	三越伊勢丹	六代目尾上菊五郎着用
11	1	前期	黒縹子地雪持松文様羽織	1領	大正末~昭和時代初期	101.5×73.0	三越伊勢丹	六代目尾上菊五郎着用
	2		黒縹子地雪持松文様着付	1領	大正末~昭和時代初期	152.0×72.0	三越伊勢丹	六代目尾上菊五郎着用
12		後期	白魚子地鯉の滝登文様着付	1領	昭和時代初期	148.0×69.0	三越伊勢丹	五代目中村吉右衛門着用
13		前期	浅葱縹子地枝垂れ桜文様振袖	1領	大正~昭和時代	193.0×74.0	日本大学芸術学部	伝六代目尾上菊五郎着用
14		後期	藤縹子地枝垂れ桜文様振袖	1領	大正~昭和時代	200.0×72.0	日本大学芸術学部	伝六代目尾上菊五郎着用
15		前期	緋縹子地震に枝垂れ桜文様振袖(かぶせ)	1領	昭和時代	55.0×70.0(裾)丈157.0	日本大学芸術学部	
16		後期	白縮緬地紅葉火焔太鼓襦袢文様九龍襦袢(かぶせ)	1領	大正~昭和時代	55.0×70.0	日本大学芸術学部	伝六代目尾上菊五郎着用
17		後期	黒縹子地狂言文様帯	1領	昭和時代	(朝巻)長さ238.6×幅27.5 (振り)長さ178.2×幅32.3	日本大学芸術学部	
18		前期	生成地題目文様陣羽織	1領	大正~昭和時代初期	104.7×26.9	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	初代中村吉右衛門着用
19		後期	薄群青地樹下鳥獸文様陣羽織	1領	大正~昭和時代初期	91.5×24.0	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	初代中村吉右衛門着用
II. 地芝居と衣裳								
□群 20		後期	濃萌黄ピロード地菊格子牡丹文様羽織	1領	江戸時代(19世紀)	103.0×67.0	横室歌舞伎保存会(群馬県前橋市)	伝七代目市川團十郎着用
□群 21		前期	黒ピロード地雲龍文様四天	1領	江戸時代(19世紀)	147.0×64.7	横室歌舞伎保存会(群馬県前橋市)	
□群 22		後期	紺縹子地牡丹高欄文様打掛	1領	江戸時代(19世紀)	178.0×67.5	横室歌舞伎保存会(群馬県前橋市)	
□群 23		後期	縹縹子地蝶草丸文様打掛	1領	江戸時代(19世紀)	189.0×69.0	横室歌舞伎保存会(群馬県前橋市)	
24		前期	紺平絹地三本斜縹編蝠文様着付	1領	江戸~明治時代(19世紀)	182.0×67.0	横室歌舞伎保存会(群馬県前橋市)	
△端 25		後期	黒ピロード地大蛇文様四天	1領	江戸時代末期	145.5×65.5	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
26		前期	臙脂ピロード地子持青海波文様四天	1領	昭和時代	133.0×69.5	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
△端 27		前期	黒ピロード地龍門に貴人文様打掛	1領	明治時代中期	185.5×75.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
28		後期	黒縹子地鉄線唐草鳥樺文様打掛	1領	大正時代中期	178.0×70.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
29	1	前期	黒縹子地庵木瓜文様羽織	1領	昭和時代初期	103.0×69.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
	2		黒羽二重地庵木瓜文様着付	1領	昭和時代初期	165.0×73.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
30	1	後期	黒ピロード地雪持松に鷹文様羽織	1領	-	107.0×67.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
	2		黒紋縹子地雪持松文様着付	1領	-	176.0×70.5	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
31		前期	江戸紫縮緬地白花菱文首抜	1領	昭和時代初期	145.5×70.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
32	1	後期	江戸紫縹子地源氏車文様ぶっかえり着付	1領	明治時代中期	154.0×67.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
	2		緋縮緬地源氏車文様ぶっかえり襦袢	1領	明治時代中期	74.0×61.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
	3		白縮緬地狐火宝珠文様九龍襦袢	1領	明治時代中期	79.0×62.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
33		前期	黒縹子地(一部黒ピロード地)雲龍文様組帯	1本	明治時代初期	長さ147.0	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
34		後期	色縹子段つなぎ地枝垂れ桜雪輪文様帯	1本	明治時代中期	(胴巻)長さ257.0(振り)長さ183.5	美濃歌舞伎保存会(岐阜県瑞浪市)	
△土 35		前期	黒ピロード地波濤に鶴文様打掛	1領	明治~大正時代	191.0×68.0	肥土山自治会(香川県小豆郡)	
△土 36		後期	金地鶴亀文様肩衣	1具	明治~大正時代	丈65.6×裾40.0	肥土山自治会(香川県小豆郡)	
		後期	金地亀文様切袴	1具	明治~大正時代	丈95.0×腰幅22.0	肥土山自治会(香川県小豆郡)	
37		前期	紫縹子地雪持松に孔雀文様羽織	1領	明治~大正時代	111.0×69.0	中山自治会(香川県小豆郡)	
			紫縹子地松文様着付	1領	明治~大正時代	143.0×66.0	中山自治会(香川県小豆郡)	
38		後期	縹縹子地竹に雀文様打掛	1領	明治~大正時代	170.5×68.5	中山自治会(香川県小豆郡)	
39		前期	黒ピロード地松に鷹文様肩衣	1具	明治42年(1909)頃	丈74.0×裾47.3	中山自治会(香川県小豆郡)	
			黒ピロード地松に波文様切袴	1具	明治42年(1909)頃	丈109.0×腰幅25.0	中山自治会(香川県小豆郡)	
40		前期	黒ピロード地毘沙門亀甲に龍丸文様羽織	1領	明治~大正時代	75.0×58.3	中町曳山会(富山県砺波市)	
41		後期	紫縹子地鷹文様千早	1領	明治~大正時代	58.0×22.7	中町曳山会(富山県砺波市)	
42		後期	紫木綿地獅子牡丹文様伊達下り	1枚	明治~大正時代	長さ61.3×幅36.7	中町曳山会(富山県砺波市)	
43		後期	焦茶地松菊孔雀文様綴子肩衣	1枚	昭和6年(1931)	59.7×32.0	中町曳山会(富山県砺波市)	
44		前期	若竹縹子地栴檀唐草文様肩衣	1枚	昭和33年(1958)	58.0×34.0	中町曳山会(富山県砺波市)	
45		通期	三浦之介役衣裳(鎌倉三代記)	一式	昭和初期~30年代	-	中町曳山会(富山県砺波市)	
46		通期	佐々木高綱役ぶっ返り衣裳(鎌倉三代記)	一式	平成16年(2004)	-	中町曳山会(富山県砺波市)	
47		前期	赤羅紗地船鶴亀文様打掛	1領	明治時代	182.0×66.0	個人(兵庫県)	
48		後期	紫縹子地地獄文様打掛	1領	江戸時代末期~明治時代	156.5×61.0	個人(兵庫県)	
49		後期	黒ピロード地・鶯色縹子地鶴亀文様打掛	1領	明治時代	188.0×69.0	個人(兵庫県)	
50		前期	紅縮緬地御簾に紫玉文様振袖	1領	明治時代	193.5×67.0	個人(兵庫県)	
51	1	前期	黒ピロード地地松樹に御所車文様羽織	1領	江戸時代末期~明治時代	101.0×67.0	個人(兵庫県)	
	2		黒ピロード地地松樹に御所車文様着付	1領	江戸時代末期~明治時代	154.0×70.0	個人(兵庫県)	
52	1	後期	紫絞絹地唐獅子牡丹文様羽織	1領	明治時代	101.0×70.0	個人(兵庫県)	
	2		紫絞絹地唐獅子牡丹文様着付	1領	明治時代	151.5×70.0	個人(兵庫県)	
53	1	前期	黒ピロード地龍立涌文様羽織	1領	明治時代	101.0×68.0	個人(兵庫県)	
	2		黒ピロード地龍立涌文様着付	1領	明治時代	157.0×70.0	個人(兵庫県)	
54		後期	赤木綿地桐鳳文様小忌衣	1領	明治時代	140.0×67.0	個人(兵庫県)	
55		前期	浅葱縹子地松に羽衣文様小忌衣	1領	明治時代	149.0×66.0	個人(兵庫県)	
56		前期	濃萌黄羅紗地鬼に金札文様四天	1領	江戸時代末期~明治時代	141.0×66.0	個人(兵庫県)	
57		後期	金地龍虎文様四天	1領	明治時代	139.0×68.0	個人(兵庫県)	
58		前期	金地波濤に雲龍文様陣羽織	1領	明治時代	108.3×27.8	個人(兵庫県)	
59		後期	赤羅紗地唐獅子牡丹文様陣羽織	1領	明治時代	96.8×35.0	個人(兵庫県)	

60		後期	赤羅紗地宝船文様組帯	1本	明治時代	長さ84.0(176)×幅41.5	個人(兵庫県)	
△阿61	1	前期	紺麻地若松に鶴文様素襖	1領	江戸時代後期	100.0×102.0	阿智村(長野県下伊那郡)	
	2		紺木綿地若松文様大口袴	1腰	江戸時代後期	丈91.0×後幅90.0	阿智村(長野県下伊那郡)	
△阿62		前期	白縹子地矢来に菊流水文様打掛	1領	江戸時代(18世紀)	160.0×63.5	阿智村(長野県下伊那郡)	
△阿63		後期	紺平絹地柳に短冊菱に流水文様打掛	1領	江戸時代(18世紀)	157.0×59.0	阿智村(長野県下伊那郡)	
△阿64		前期	寄せ裂陣羽織	1領	江戸時代後期	80.0×29.5	阿智村(長野県下伊那郡)	
△阿65		後期	寄せ裂陣羽織	1領	江戸時代後期～明治時代	88.0×32.0	阿智村(長野県下伊那郡)	
△阿66		後期	紺木綿地騎龍弁天文様舞台幕	1枚	文政11年(1828)	長さ202.0×幅165.0	阿智村(長野県下伊那郡)	
III-梅若の衣裳と福助座								
III-1. 金沢歌舞伎と福助座								
67		通期	流間軒其方狂歌絵日記	1冊	明和～安永頃(18世紀後半)		当館	
68		通期	犀川川上新町芝居座絵図	1枚	江戸時代後期(19世紀)		当館	
69		通期	盆正月番付	1枚	文政期		当館	
70		通期	二拾年来川上芝居外題集	1冊	19世紀		石川県立図書館	
71		通期	肉人形箱番付	1枚	安政6年(1859)		当館	
72		通期	金沢乗込役者評判記	1枚	明治時代初期		当館	
73		通期	東山芝居番付(尾上松緑出演)	1枚	明治3年(1870)		当館	
74		通期	川上末吉座番付	1枚	明治8年(1875)		当館	
75		通期	多田宅兵衛筆淨瑠璃本	2冊	明治12年(1879)		中能登町	
76		通期	福助座芝居番付(小屋掛け時代)	1枚	明治22年(1889)		当館	
77		通期	福助座披露引札	1枚	明治26年(1893)		金沢市立玉川図書館近世史料館	
78		通期	福助座芝居番付(こけら落とし興行)	1枚	明治26年(1893)		当館	
79		通期	中村千太郎興行引札	1枚	明治27年(1894)		当館	
80		通期	泉柳門弟温習会番付	1枚	明治27年(1894)		当館	
81		通期	福助座絵入り芝居番付(中村芝翫出演)	1枚	明治30年(1897)8月		当館	
82		通期	金沢繁昌寿娛六	1枚	明治35年(1902)		当館	
83		通期	福助座絵入り芝居番付(五世歌右衛門出演)	1枚	大正元年(1912)		当館	
84		通期	嵐冠十郎引祝い刷物	1枚	大正12年(1923)		当館	
84		通期	嵐冠十郎隠退興行番付	1枚	大正12年(1923)		石川県立図書館	
86		通期	大和座芝居絵(絵本太功記)	2幅対	明治41年(1908)	(本紙)縦139.7×横86.4	株式会社ガーデンホテル金沢	
87		通期	大和座芝居絵(絵本太功記/傾城阿波の鳴門)	2幅対	明治41年(1908)	(本紙)縦138.2×横84.3	株式会社ガーデンホテル金沢	
III-2. 福助座ゆかりの衣裳								
88		前期	金地鷹に大蛇文様四天	1領	明治時代後期～大正時代	148.3×64.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
89		後期	濃萌黄ピロード地雲龍波瀾文様四天	1領	明治時代後期～大正時代	133.5×64.3	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
90	1	前期	黒ピロード地雲龍文様肩衣	1具	明治時代後期～大正時代	75.0×22.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	2		黒ピロード地雲龍文様長袴	1領	明治時代後期～大正時代	丈210.6×腰幅25.3	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	3		黒ピロード地熨斗目半腰	1枚	明治時代後期～大正時代	114.4×66.8	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
91	1	後期	黒木綿地角亀甲繫ぎ文様羽織	1領	明治時代後期～大正時代	104.0×66.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	2		黒木綿地角亀甲繫ぎ文様着付	1領	明治時代後期～大正時代	145.0×67.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
92		前期	黒ピロード地紋入り格子文様羽織	1領	明治時代後期～大正時代	105.7×70.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
93		後期	紫縹子地鯉瀧登り文様打掛	1領	明治時代後期～大正時代	171.0×68.8	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
94		後期	瑠璃色縹子地網代垣に紅葉文様着付	1領	明治時代後期～大正時代	175.3×64.4	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
95		前期	鏡浅葱縮緬地霞に薔薇春草鶴文様振袖	1領	江戸時代後期	163.0×65.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
96		後期	縹縮緬地桜に瀧鼓文様振袖	1領	江戸時代後期	155.0×61.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
97		前期	黒縹子地雪待竹に雀山茶花文様打掛	1領	明治時代後期～大正時代	179.0×66.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
98		前期	赤縮緬地唐獅子に牡丹流水文様振袖	1領	明治時代後期～大正時代	155.0×64.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
99		前期	白ネル地龍に波瀾文様陣羽織	1領	明治時代後期～大正時代	108.0×29.3	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
100		後期	黒ピロード地龍門文様鑑下	1領	明治時代後期～大正時代	44.8(90.0)×52.3	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
101		後期	金地唐獅子牡丹文様組帯	1本	明治時代後期～大正時代	長さ85.5×幅58.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
III-3. 梅若の貸衣裳								
102	1	後期	紫縹子地雀文様素襖(亀丸紋付)	1領	大正～昭和時代	57.6×99.2	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	2		紫縹子地雀文様長袴	1腰	大正～昭和時代	長さ181.0×腰幅27.2	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
103	1	前期	浅葱縹子地濡れ燕文様羽織	1領	大正～昭和時代	98.5×65.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	2		浅葱縹子地濡れ燕文様着付	1領	大正～昭和時代	146.0×67.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
104		前期	濃紺縹子地檜扇葉玉文様着付	1領	大正～昭和時代	159.2×64.3	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
105		後期	紺紋縮緬地柴垣に菊流水文様振袖	1領	大正～昭和時代	170.0×68.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
106	1	前期	縹紋縮緬地鶴丸文様素襖	1領	大正～昭和時代	75.2×94.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	2		縹紋縮緬地鶴丸文様大口袴	1腰	大正～昭和時代	丈97.0×腰幅66.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
107	1	後期	縹紋縮緬地鶴丸文様素襖	1領	大正～昭和時代	75.0×95.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	2		縹紋縮緬地鶴丸文様大口袴	1腰	大正～昭和時代	丈98.0×腰幅65.8	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
108		後期	赤縹子地流水に扇鼓文様振袖	1領	大正～昭和時代	173.5×67.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
109	1	前期	群青縹子地籬に菊文様肩衣	1具	大正～昭和時代	72.5×45.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	2		群青縹子地籬に菊文様切袴	1領	大正～昭和時代	丈99.5×腰幅24.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	3		桃色縮緬地扇面小紋半腰	1枚	大正～昭和時代	100.5×67.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
110		前期	瑠璃色縮緬地四割菱入り立涌文様十二単	1領	大正～昭和時代	164.5×83.3	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
111		前期	金地花青海波文金襴小忌衣	1領	大正～昭和時代	96.0×56.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
112		後期	薄黄地扇面流水文金襴小忌衣	1領	大正～昭和時代	142.5×69.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
113		前期	黒平絹地蝶に綱文様着付	1領	明治時代後期～昭和時代	145.5×66.2	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
114		後期	紫縮緬地・赤紫木綿地百合に椿文様扇鼓	1領	大正～昭和時代	210.0×69.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
115	1	後期	黒縮緬地七宝繫ぎに宝尺文様振袖	1領	大正～昭和時代	180.5×68.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	2		紅浅葱段染分け絞縮緬地の葉文様鹿の子絞り襦袢	1領	大正～昭和時代	151.5×62.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	3		紅縮緬地襦袢	1領	大正～昭和時代	128.5×65.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
116		前期	黒縹子地菖蒲筆文様着付	1領	大正～昭和時代	141.0×68.4	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
117		後期	白木綿地鳥居文様大口袴	1腰	大正～昭和時代	丈99.0×腰幅62.5	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
118	1	前期	黒縮緬地藤文様振袖	1領	昭和時代	191.0×67.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
	2		桃色縮緬地藤文様振袖	1領	昭和時代	180.5×60.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
119		後期	浅葱縮緬地枝垂れ桜文様ぶっかえり振袖	1領	昭和時代	175.0×65.0	梅若演劇衣裳店(金沢市)	
120		前期	焦茶ピロード地波瀾文様伊達下り	1枚	大正～昭和時代	丈69.0×幅39.4	梅若演劇衣裳店(金沢市)	

121	後期	黒木綿地青海波に千鳥文様伊達下り	1枚	大正～昭和時代	丈64.0×幅56.0	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
122	通期	切付	一括	明治時代後期～昭和時代	-	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
123	通期	中啓	2本		(黒)長さ33.0 (朱)長さ30.5	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
124	通期	鈴	2本		長さ26.0	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
125	通期	剣先烏帽子	1頭		高さ40.5×幅30.0	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
126	通期	化粧品	一括		-	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	

□群-群馬県指定重要文化財 △瑞-瑞浪市指定有形民俗文化財 △土-土庄町指定有形民俗文化財 △阿-阿智村指定有形民俗文化財

※単位はcm 表記のないものは丈×桁

幕間-錦絵でみる劇場								
番号	枝番	展示期間	名称	数量	年代	法量	所蔵	作者
参1		前期	東都名所二丁町芝居繁栄之図	3枚一組	天保3(1832)年～天保12(1841)年	36.0×24.7 36.0×25.1 35.9×24.6	国立劇場	初代歌川広重画
参2		後期	東都名所芝居町繁栄之図	1枚	天保13年(1842)	25.4×37.3	国立劇場	
参3		後期	東都繁栄之図	3枚一組	安政元年(1854)	37.1×25.0 37.0×25.3 36.8×25.4	国立劇場	初代歌川広重画
参4		前期	踊形容江戸絵巻	3枚一組	安政5年(1858)	37.2×25.7 37.0×25.7 37.0×25.5	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	三代歌川豊国画
参5		後期	大芝居繁栄之図	3枚一組	安政6年(1859)	37.0×25.4 37.0×25.4 36.8×25.4	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	三代歌川豊国画
参6		後期	歌舞伎十八番内吉例暫	2枚継	江戸時代 (19世紀)	40.0×54.0	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	三代歌川豊国画
参7		前期	東都名所猿若町芝居	1枚	江戸時代 (19世紀)	23.3×35.6	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	初代歌川広重画
参8		前期	東都名所猿若町顔見世飾物	1枚	江戸時代 (19世紀)	24.0×36.7	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	初代歌川広重画
参9		前期	古今俳優 中村家	1枚	文久2年(1862)	33.9×23.9	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	初代歌川広重画
幕間-錦絵でみる歌舞伎衣裳								
参10		前期	助六廓の花見時	3枚一組	嘉永3年(1850)	36.4×24.8 36.3×24.8 36.4×24.8	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	歌川国芳画
参11		前期	鬼一法眼三略巻	3枚一組	文政10年(1827)	37.4×25.2 37.3×25.2 37.4×25.1	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	初代歌川国安画
参12		後期	義経千本桜	3枚一組	文化12年(1815)	37.7×26.0 38.3×26.3 38.3×25.6	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	初代歌川国貞画
参13		後期	国性館合戦	3枚一組	文久3年(1863)	37.3×25.5 37.3×25.5 37.4×25.6	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	三代歌川豊国画
参14		前期	花口宿初役	3枚一組	嘉永6年(1853)	36.2×24.4 36.1×24.3 36.2×24.5	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	三代歌川豊国画
参15		前期	増補夏祭浪花鑑	3枚一組	安政6年(1859)	35.8×25.1 35.9×25.1 35.9×25.1	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	三代歌川豊国画
参16		後期	里見八犬伝	3枚一組	嘉永5年(1852)	35.5×24.7 35.5×24.6 35.5×24.7	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	三代歌川豊国画
参17		前期	青砥稿花紅彩画	3枚一組	文久2年(1862)	37.1×25.5 37.0×25.5 37.3×25.6	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	三代歌川豊国画
参18		後期	廓文章	2枚一組	天保3年(1832)	38.5×26.5 38.5×26.7	国立劇場	初代歌川国貞画
参19		前期	花舞台丹前伏客 (仲の町鞘当の場)	2枚一組	天保6年(1835)	36.7×25.7 36.7×25.7	国立劇場	初代歌川国貞画
参20		後期	弁天娘女男白浪 (稲瀬川勢揃の場)	3枚一組	明治22年(1889)	37.7×25.3 37.4×25.3 37.8×25.3	国立劇場	三代歌川国貞画
参21		後期	小栗判官車街道	3枚一組	嘉永6年(1853)	35.1×25.0 35.1×24.6 35.1×24.5	国立劇場	三代歌川豊国画
幕間-福助座と梅若の衣裳 (古写真)								
参22		通期	大神宮写真	1枚	明治42年(1909)頃	原版10.0×14.0	当館	
参23		通期	香林坊写真	1枚	明治42年(1909)頃	原版10.0×14.0	当館	
参24		通期	香林坊福助座「先代萩対決ノ場」	1枚	大正3年(1914)か	原版9.1×14.0	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参25		通期	嵐冠十郎「先代萩床下ノ場」	1枚	大正3年(1914)か	原版9.7×13.9	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参26		通期	香林坊福助座改築舞台開	1枚	大正5年(1916)か	原版11.2×15.6	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参27		通期	太田七兵衛夫妻	1枚	大正期か	原版10.0×13.7	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参28		通期	新町福助座「紅葉狩ノ場」	1枚	大正末頃か	原版9.8×13.9	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参29		通期	東善作郷土訪問飛行記念 (於野村練兵場)	1枚	昭和2年(1927)	原版21.3×27.0	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参30		通期	千代町男女青年会演芸大会 (旧羽咋郡)	1枚	昭和21年(1946)	原版10.6×15.6	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参31		通期	城端是安神明宮遷宮慶賀祭歌舞伎	1枚	昭和30年(1955)	原版10.9×14.8	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参32		通期	城端是安神明宮遷宮慶賀祭歌舞伎 (三番叟)	1枚	昭和30年(1955)	原版10.9×15.4	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参33		通期	藤蔭会 (於北国会館)	1枚	昭和32年(1957)	原版11.1×15.4	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参34		通期	砺波・出町東曳山	1枚	昭和32年(1957)	原版20.0×15.0	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参35		通期	砺波・出町曳山子供歌舞伎	1枚	昭和30年代	原版19.5×24.2	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	
参36		通期	村芝居かつら付け (場所不明)	1枚	昭和30年代	原版8.4×12.0	梅若演劇衣裳店 (金沢市)	

※単位はcm 縦×横

(4) 企画展・スポット展示

企画展

「いしかわ中世のやきもの」

中世のやきものといえば、石川県では珠洲焼がよく知られている。珠洲焼は黒灰色の器面や、叩き目・櫛目文などの装飾に特徴を持ち、日本海東北部に商圈を確保していた。一方で加賀では赤褐色の加賀焼が流通したほか、近年では口能登でも加賀焼の技術を導入したとみられる窯が発見され、各地で高まる日常雑器の需要に応えていたことが明らかになっている。

本展は、館蔵の珠洲焼資料に加え、加賀焼をはじめとする県内各地の窯の製品を紹介し、中世における能登・加賀の陶器生産に迫った。

会 期 平成30年12月15日(土)～
平成31年1月20日(日) 会期中無休
※年末年始の休館日 12月28日～1月3日
時 間 9:00～17:00 (展示室への入室は16:30まで)
会 場 企画展示室

展示解説 日 時：平成31年1月12日(土) 13:30～
会 場：企画展示室
講 師：当館学芸員 参加者：16名

れきはくゼミナール「いしかわの中世を支えた焼きものたち」
日 時：平成30年12月15日(土)13:30～15:00
会 場：ワークショップルーム
講 師：当館学芸員 参加者：30名



ポスター



展示風景



展示解説

出品一覧

No	資料名	出土地・伝世地	時代	員数	所蔵先
1	珠洲叩大壺		平安時代	1	本館
2	珠洲叩大甕		平安時代	1	本館
3	珠洲叩大甕		鎌倉時代	1	本館
4	珠洲叩大甕	珠洲市上戸町北方出土	室町時代	1	本館
5	珠洲叩壺	金沢市小坂経塚出土	平安時代	1	本館
6	珠洲綾杉文叩壺		鎌倉時代	1	本館
7	珠洲櫛目文小壺	富山県氷見市阿尾出土	鎌倉時代	1	本館
8	珠洲綾杉文叩壺		鎌倉時代	1	本館
9	珠洲叩壺		鎌倉時代	1	本館
10	珠洲叩小甕		鎌倉～室町時代	1	本館
11	珠洲叩壺	珠洲市鶴島安養寺遺跡出土	鎌倉～室町時代	1	本館
12	珠洲櫛目文小壺	珠洲市郷カマノマエ窯跡出土	鎌倉～室町時代	1	本館
13	珠洲刻字文壺		鎌倉～室町時代	1	本館
14	珠洲研磨壺		室町時代	1	本館
15	珠洲叩壺	志賀町大念寺伝世	室町時代	1	本館
16	珠洲片口鉢		平安時代	1	本館
17	珠洲印花文片口鉢		鎌倉時代	1	本館
18	珠洲小鉢		室町時代	1	本館
19	珠洲陶片	珠洲市珠洲窯跡群出土	鎌倉時代	6	本館
20	珠洲櫛目文双耳壺		平安時代	1	本館
21	珠洲巴文経外容器		平安時代	1	本館
22	珠洲瓶子		鎌倉～室町時代	1	本館
23	珠洲瓶子		室町時代	1	本館
24	珠洲木葉文瓶子	七尾市黒崎出土	室町時代	1	本館
25	珠洲双耳水注		室町時代	1	本館
26	珠洲刻銘小甕	輪島市経塚山遺跡出土	室町時代	1	本館
27	珠洲四耳壺		室町時代	1	本館
28	□珠洲秋草文壺	珠洲市正院出土	鎌倉時代	1	本館
29	□珠洲鳥樹文小壺	珠洲市宝立町春日野出土	鎌倉～室町時代	1	本館
30	□珠洲鳥樹文壺	富山県氷見市阿尾出土	鎌倉～室町時代	1	本館
31	加賀甕	小松市二ツ梨オクダニ窯跡出土	平安時代	1	小松市立博物館
32	加賀幾何文大甕	小松市牧口中世墓地出土	鎌倉～室町時代	1	小松市立博物館
33	加賀壺	小松市軽海中世墓群出土	鎌倉時代	1	小松市立博物館
34	加賀壺	小松市戸津町出土	鎌倉～室町時代	1	小松市立博物館
35	加賀搗鉢	小松市那谷ダイテンノウダニ窯跡出土	鎌倉時代	1	小松市立博物館
36	加賀陶片	小松市加賀窯跡群出土	平安～鎌倉時代		小松市立博物館
37	加賀陶片	金沢市普正寺遺跡出土	鎌倉時代	5	本館
38	志加浦陶片	志賀町志加浦窯跡出土	鎌倉時代	13	志賀町教育委員会
39	志加浦甕	金沢市木越光琳寺遺跡出土 志賀町北吉田ノシロタ遺跡出土	鎌倉時代	2	石川県埋蔵文化財センター
40	志加浦甕	輪島市門前町道下元町遺跡出土	鎌倉時代	1	石川県埋蔵文化財センター

企画展

「れきはくコレクション2018」

当館では、年度ごとに収集した資料をお披露目する展覧会を開催しています。本展では、平成30年に新たに収集した資料を紹介しました。

会 期 平成31年2月2日（土）～3月17日（日）
※会期中無休
展示場所 特別展示室
開館時間 9:00～17:00（入館は16時30分まで）
展示解説 【日時】平成31年2月17日（日）13:30～14:30
【担当】当館学芸員 【参加者】15名



ポスター



展示風景



展示風景



展示解説

スポット展示

「工芸のはざま 本多家旧蔵雲龍薄端」

会 期 平成30年11月24日(土)～12月9日(日)
時 間 9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで)
会 場 企画展示室

「重要文化財 春日懐紙・春日本万葉集」

会 期 平成30年11月24日(土)～平成31年1月14日(月・祝)
※平成30年12月28日(金)～平成31年1月3日(木)は休館
時 間 9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで)
会 場 特別展示室

他団体主催の展覧会

◆特別展示室・企画展示室

催事名 「エヴァンゲリオンと日本刀」展
主 催 テレビ金沢、テレビせとうち、一般社団法人全日本刀匠会事業部
企画協力 グラウンドワークス
協 力 電撃ホビーマガジン、テレビせとうちクリエイト
後 援 北國新聞社
会 期 平成30年6月8日(金)～7月22日(日)
展示内容 薙刀(刀野薙)他26点
来場者 12,795人

◆ギャラリー

催事名 「ふれてみる石川の文化」展
主 催 石川県、いしかわ県民文化振興基金
共 催 加賀市
協 力 北陸日彫会、社会福祉法人石川県視覚障害者協会、石川県立盲学校、金沢市立小將町中学校特学分校
後 援 北國新聞社
会 期 平成30年11月18日(日)～11月24日(土)
展示内容 谷村俊英「収穫祭の舞姫(MEXCO)」他計37点
来場者 1,828人
関連事業 クイズコーナー、音楽劇、ミニコンサート、親子ふれあい彫刻ワークショップ

催事名 「加賀竿」展 ～加賀竿の歴史と未来～
主 催 加賀竿展実行委員会
後援 北國新聞社、北陸朝日放送、テレビ金沢、NHK金沢放送局、北陸放送
会 期 平成30年9月26日(水)～10月21日(日)
展示内容 加賀竿他計73点
来場者 850人

2. 調査研究活動

(1) 紀要の発行

石川県立歴史博物館研究紀要 第28号 (平成31年4月20日発行)

【論 文】加賀前田家による京都北野社への太刀奉納	塩崎久代
加賀藩領内の廻船問屋と「北前船」北ルートの研究	濱岡伸也
初代石川県令内田政風 ―その事績の検討―	石田 健
美人ツーリズムの成立 (上) ―「加賀美人」の系譜―	大門 哲

(2) 石川の歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、県内外の研究機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組み、公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、地域の人々が身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう文化力向上を図る。

平成30年度

第29回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「百万石の明治維新を考える」

平成30年5月20日(土) 13:00～17:00 (於:当館ワークショップルーム) 参加者:81名
「加賀藩と北越戦争」 金沢市立玉川図書館近世史料館学芸員 宮下 和幸 氏
「紀尾井町事件」 当館学芸主任 石田 健
「金沢城・兼六園の明治維新」 金沢星稷大学経済学部教授 本康 宏史 氏

第30回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「金沢歌舞伎と茶屋街の芸」

平成30年11月25日(日) 13:00～17:00 (於:当館ワークショップルーム) 参加者:66名
「近世金沢の芝居興行」 金沢市立泉野図書館主任主事 塩川 隆文氏
「茶屋街の芸の系譜・芸妓の芸能」 國學院大學文学部兼任講師 高久 舞氏
「能と歌舞伎の折衷芸能のゆくえ―泉祐三郎一座の活動と展開―」
島根県教育庁文化財課島根県古代文化センター研究員 石山 祥子氏

(3) 国際交流事業

韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成3年1月15日に締結した姉妹館協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善、ならびに環日本海文化の共同研究を目的として交流員を相互派遣し、交流記念展についての打ち合わせや、専門分野に関連した文化施設、史跡などの視察を行った。

【学芸員の交流】

平成30年度

韓国国立全州博物館 運営主務官 金光洙・広報主務官 金惠英 来県

受入期間:平成30年5月13日(日)～5月16日(水)

石川県立歴史博物館 学芸員 野村 将之を全州博物館に派遣

派遣期間:平成30年10月17日(水)～10月23日(火)

3. 資料収集保管活動

(1) 収集資料一覧

平成30年度

購入資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	壁土細工牡丹文様付硯箱	1	江戸時代後期(19世紀前半)

計 1 件 1 点

寄贈資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	人物花木鳥獸図色紙貼交幅	2	江戸時代(19世紀中葉)
2	考古資料	橋本澄夫調査資料	727	昭和～平成時代(20～21世紀前半)
3	歴史資料	近藤弘氏軍隊関係資料	20	昭和前半(20世紀前半)
4	歴史資料	七尾絵葉書	3	大正～昭和前期
5	歴史資料	郵便切手貯金台紙	2	大正8年
6	歴史資料	昭和大礼警衛記念盃	2	昭和3年(1928)
7	歴史資料	特別大演習下賜金拝受記念盃	1	昭和8年(1933)
8	歴史資料	人物集合写真	17	大正～昭和前期
9	歴史資料	鹿島郡御祖村地内写真	6	昭和16年(1941)前後
10	歴史資料	昭和38年豪雪写真	15	昭和38年(1963)
11	歴史資料	百万石まつり写真	15	昭和30年代
12	歴史資料	前田利為書幅	1	昭和前半(20世紀前半)
13	歴史資料	金沢県魚津出張所鑑札	1	幕末～明治初頭
14	歴史資料	風景印付き葉書	937	昭和前半(20世紀前半)
15	歴史資料	山陵志	1	江戸後期(19世紀前半)
16	歴史資料	聖蹟図志	1	19世紀
17	歴史資料	山陵考略	1	明治初期(20世紀後半)

計 17 件 1752 点

(2) 資料の保存

◆ガス燻蒸消毒／防虫処理作業

平成18年度から、通常のガス燻蒸を中止し、特殊テントの中に炭酸ガス(二酸化炭素=CO₂)を2~3週間充填し、酸欠による窒息で殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対して薬剤散布による予防や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。なお平成27年度より能登高等学校柳田校舎内の体育館を外部収蔵庫とし、環境調査を行った。また、平成30年度は緊急対応としてヴァイケーン(フッ化フルスリル)による薬剤燻蒸を実施した。

(炭酸ガス殺虫)

- ① 作業概要 床面積4m×4mに高さ2mの32m³の容量を持つテントに炭酸ガス(CO₂)を充填し、殺虫処理を行う。
- ② 作業の実施 平成30年度は1回実施(8月28日~9月12日)。作業時間は約2週間、使用炭酸ガス量は45kg。

(ヴァイケーン殺虫)

- ① テントを使用した燻蒸
 - (ア) 作業概要 床面積3m×4mに高さ1.5mの18m³の容量を持つテントにヴァイケーンを充填し、殺虫処理を行う。
 - (イ) 作業の実施 平成30年度は1回実施(3月17日~19日)。作業時間は48時間、使用ヴァイケーン量は2kg。
- ② 特別収蔵庫の燻蒸
 - (ア) 作業概要 特別収蔵庫の本室・前室、あわせて1,011m³の空間にヴァイケーンを充填し、殺虫処理を行う。
 - (イ) 作業の実施 平成30年度は1回実施(5月27日~5月30日)。作業時間は48時間、使用ヴァイケーン量は100kg。

(環境調査モニタリング)

- ① 本館
 - (ア) 実施場所 第1~3棟の収蔵室と展示室、および正面受付と各棟出入口
 - (イ) 調査方法
 - I. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2~3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - II. 菌類調査 エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は各室5ヶ所で円筒状サブロー寒天を床面にあてて採取。
 - III. 浮遊粒子調査 各室1~2ヶ所バイオテストにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
 - (ウ) 調査期間 平成30年度は年2回(6月26日、11月15日)実施
 - (エ) 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。
- ② 柳田収蔵庫
 - (ア) 実施場所 体育館のみ
 - (イ) 調査方法
 - I. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2~3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - II. 菌類調査 エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は10ヶ所で円筒状サブロー寒天を床面にあてて採取。
 - III. 浮遊粒子調査 2ヶ所バイオテストにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
 - (ウ) 調査期間 平成30年度は年1回(6月26日)実施
 - (エ) 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

(害虫など防除作業)

- ① 各棟進入経路への薬剤散布
 - ア. 実施場所 各棟 出入口・非常口、渡り廊下出入口
 - イ. 実施期間 平成30年7月(1回)
 - ウ. 実施方法 低臭性殺虫乳剤をハンドスプレーにより噴霧。
薬剤はジメチルー0(3-メチルー4-ニトロフェニル)、ホスホロチオエイト(低臭性 シントー スミチオン乳剤)
- ② 防塵用ソールマットの設置
 - ア. 設置場所 特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第1収蔵庫、第2収蔵庫
 - イ. 設置方法 各室入口に微粘着性ソールマット(30シート1綴り)を設置し、付着した埃や菌を吸着する。

(3) 館蔵資料分類表

(H31.3.31)

収集年度 資料区分		平成27年度末 資料総数	平成28年度 収集資料数	平成29年度 収集資料数	平成30年度 収集資料数	資料総数
美術	購入 寄付	11,781	0 0	0 1	1 2	11,785
考古	購入 寄付	5,921	0 0	0 0	0 727	6,648
歴史	購入 保管換 寄付	72,941	0 0 265	1 0 750	0 0 1,023	74,980
民俗	購入 寄付	28,280	0 66	0 12	0 0	28,358
自然	購入 寄付	92	0 0	0 0	0 0	92
模型	購入 寄付	212	0 0	0 0	0 0	212
パネル	購入 寄付	187	0 0	0 0	0 0	0
視聴覚室 その他	購入 寄付	10,152	0 0	0 0	0 0	10,152
図書	購入 寄付	2,343 56,718	42 14,52	37 14,52	38 1,447	2,460 61,069
合計		188,627	1,825	2,253	3,238	195,756

(4)貸与資料一覧

貸与先	資料名	目的	期間
石川四高記念文化交流館	四高関係資料 115点	石川四高記念文化交流館で展示するため	H30.4.1～H31.3.31
(公財)石川近代文学館	雑誌「少女の友」 28点	石川近代文学館で展示するため	H30.4.1～H31.3.31
珠洲市立珠洲焼資料館	カメワリ坂窯陶片 4箱	珠洲市立珠洲焼資料館で展示するため	H30.4.1～H31.3.31
能美市教育委員会	馬の線刻のある壺 1点	能美市立歴史民俗資料館で展示するため	H30.4.1～H31.3.31
前田土佐守家資料館	安政頃金沢城下絵図ほか 4点	企画展「城下町金沢のなかの前田土佐守家」で展示するため	H30.4.13～H30.7.2
金沢美術倶楽部100周年実行委員会	白糸威二枚胴具足 1点	特別展「美のチカラ～POWER OF ART～」で展示するため	H30.4.19～H30.5.21
小松市立博物館	小松祭礼図 1点	企画展「新着資料展」で展示するため	H30.4.25～H30.5.23
石川県立白山ろく民俗資料館	白山下加賀越前領境図 1点	夏季企画展「加賀禅定道の旧跡を知る」で展示するため	H30.7.20～H30.9.25
(株)中日新聞北陸本社	加賀金沢八勝之内蓮湖之漁火 1点	「生誕220年広重展」で展示するため	H30.7.26～H30.8.27
敦賀市立博物館	武田耕雲斎等天狗党員筆跡巻 1点	特別展「水戸天狗党敦賀に散る」で展示するため	H30.8.28～H30.10.30
(公財)藩老本多蔵品館	浅井弘五郎所用刀ほか 2点	秋季特別展「加賀本多家の幕末維新」で展示するため	H30.9.4～H30.12.10
板橋区立郷土資料館	北国下街道図屏風ほか 3点	特別展「都営三田線開業50周年記念いたばし大交通展」で展示するため	H30.9.20～H30.12.16
国立近現代建築資料館	第四高等学校本館図 1点	「明治期における官立高等教育施設の群像」で展示するため	H30.9.26～H31.2.20
石川県銭屋五兵衛記念館	銭屋千賀愛用羽子板ほか 2点	企画展「銭屋五兵衛の活躍を支えた女性たち展」で展示するため	H30.11.7～H31.2.4
島根県立古代出雲歴史博物館	福浦湊佐渡屋諸国客船帳 1点	企画展「隠岐の祭礼と芸能」で展示するため	H30.12.5～H31.3.7
(公財)藩老本多蔵品館	大坂之陣図屏風 1点	春季特別展「大坂の陣前後の加賀藩」で展示するため	H31.3.4～H31.4.25

計16件167点

(5)写真貸与・特別利用状況

種別	点数
写真掲載・放映	134件183点(うち非館蔵品10件11点)
閲覧	5件55点
撮影	35件376点(うち非館蔵品6件202点)

計174件614点

4. 教育普及活動

(1) 一般広報

■新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）
広報いしかわ、商工石川など県発行の広報誌
各種情報誌、タウン情報誌、歴史・美術系雑誌

■テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

■マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入の14社に随時情報を提供。
県内放送局及び新聞社に随時情報を提供。

■インターネットによる情報提供

当館ホームページ・Twitter で最新情報を公開
各種観光・イベント情報 Website への掲載

■広報誌「石川れきはく」の発行（年4回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館そ
の他公共施設、れきはくメイト会員

■「れきはくメイト情報」の発行（年7回）

れきはくメイト会員への各種案内

■ポスター、チラシの配布

北陸3県の教育委員会・小中学校、県内図書館・
公民館・博物館その他公共施設、宿泊関係施設、
県内商店街、県内市町観光関係所管課、県内の
コンビニエンスストア 他

■学校向けちらしの作成・配布

石川県立美術館と共同でチラシを作成し、北陸三
県の小中学校等に配布

■新聞広告

(2) 出版

■機関誌「石川れきはく」 規格:A4 頁数:6ページ 発行部数:1,600部

平成30年度はNo.125～128を発行し、関係機関やれきはくメイト(友の会)等に配布した。



125号



126号



127号



128号

(3) 案内解説・レファレンス

①団体への案内解説

案内解説を希望する団体へは、見学前に解説員が館概要と見どころを説明している（予約制）。個人に対しては音声ガイド*（無料）を勧めている。音声ガイドの案内がある資料の付近に番号が示してあり、番号のボタンを押して解説を聞くシステムとなっている。

専門的な内容の案内、および学術関係の問い合わせには学芸員が対応している。学校団体入館者は、展示室を班別行動で見学することが多いため、展示室で利用できるワークシート「いしかわれきはくガイド」を配布し、多くの児童生徒に活用されている。ホームページでも公開しており、ダウンロードも可能なので、事前に準備し児童生徒に持たせて来館する学校も増えてきている。

②外国人観覧者に対する解説

常設展示室のパネルの解説は、コーナー名称は4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）で示しているが、コーナーの解説文・資料名は2か国語（日本語・英語）のみであるため、音声ガイドで外国人の観覧者への対応をしている。

*音声ガイド…4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応、資料60点分の解説を収録

1点あたり約3分、全3時間

(4) 講座

れきはくゼミナール

れきはくゼミナールを次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 毎月1回 土曜日(3月は2回)
13:30～15:00(全11回)
3. 受講料 無料
4. 会場 ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

No.	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	6月16日	北国武士たちの源平合戦	岡崎 道子	47名
2	7月21日	青年時代の長谷川等伯	北 春千代	39名
3	8月18日	古墳壁画の世界観	三浦 俊明	56名
4	9月15日	俱利伽羅長楽寺の江戸復興	塩崎 久代	38名
5	10月20日	福助座と梅若の歌舞伎衣裳	大井 理恵	28名
6	11月17日	神と仏のものがたり —高爪山の信仰を中心に—	戸潤 幹夫	33名
7	12月15日	いしかわの中世を支えた焼きものたち	野村 将之	30名
8	1月19日	初代県令・内田政風	石田 健	50名
9	2月16日	金沢はパチンコ発祥の地? —金沢遊技場史—	大門 哲	20名
10	3月16日	大伴家持と能登	永井 浩	47名
11	3月23日	加賀藩の俳諧	濱岡 伸也	51名



平成30年度 第1回れきはくゼミナール

学芸員によるワンポイント解説

常設展のスポット解説を次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 毎月1回 金曜日
13:30～14:00(全11回)
3. 受講料 常設展観覧料
4. 会場 常設展示室
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No.	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	5月25日	近世初期における本願寺門徒の動向	塩崎 久代	17名
2	6月22日	いしかわの祭礼風流	大門 哲	12名
3	7月27日	武士の近代	石田 健	22名
4	8月24日	法住寺・白山神社の神仏習合	岡崎 道子	16名
5	9月28日	明治天皇に献上された不思議な石器	戸潤 幹夫	6名
6	10月26日	古代いしかわの渡来文化	三浦 俊明	15名
7	11月23日	「畠山義総画像」と畠山文化	北 春千代	17名
8	12月21日	神饌の色とかたち	大井 理恵	13名
9	1月25日	縄文の海のみち	野村 将之	9名
10	2月22日	三角縁神獣鏡と鍬形石	永井 浩	15名
11	3月22日	参勤交代と藩主	濱岡 伸也	37名



平成30年度 第1回学芸員によるワンポイント解説

県民大学校歴史講座 受講者数：18名

石川県の歴史と文化について、基礎的な理解を深める専門講座とした。

1. 対象・定員 どなたでも 50人まで
2. 開催期間 11月～1月の間に10回開催
水曜日 13:30～15:30
3. 参加費 3,000円(テキスト代を含む)
4. 会場 ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

No.	開講日	テーマ	担当者
1	11月14日	石川の原始	野村 将之
2	11月21日	石川の古代Ⅰ	三浦 俊明
3	11月28日	石川の古代Ⅱ	永井 浩
4	12月5日	石川の中世Ⅰ	岡崎 道子
5	12月12日	石川の中世Ⅱ	北 春千代
6	12月19日	石川の近世Ⅰ	塩崎 久代
7	1月9日	石川の近世Ⅱ	濱岡 伸也
8	1月23日	石川の民俗Ⅰ	大井 理恵
9	1月30日	石川の近現代	石田 健
10	2月6日	石川の民俗Ⅱ	大門 哲

古文書講座

古文書の読み方や内容を分かりやすく解説する講座を、前期と後期の2回実施した。

	開催日	テーマ	担当者
前期	5月24日	加賀藩領の百姓たち	濱岡 伸也
	6月21日		
	7月26日		
	8月23日		
後期	1月24日	ぐりからちょうらくじ 俱利伽羅長樂寺文書を読む	塩崎 久代
	2月21日		
	3月14日		



平成30年度 古文書講座（後期第2回）

(5) 博学連携事業

◆学習用資料貸出事業

学校や教育関係機関に当館所蔵のレプリカ資料を貸し出すことで、歴史をより身近なものに感じてもらう。

貸出先学校・施設	貸出期間	資料名(数量)
金沢市立千坂小学校	平成31年1月4日～18日	昔の道具 其の壱(3点)、其の弐(4点)、其の四(2点)、其の五(2点) 計11件
能美市立歴史民俗資料館	平成30年9月18日～28日	複製装飾付大刀(1点) 計1点

◆職場体験事業受け入れ事業(H30年度)

インターンシップ

学校名	期間	参加者
金沢大学	8月22日(水)	3名
名古屋大学	8月22日(水)	1名
筑波大学	8月22日(水)	1名
明治大学	8月22日(水)	1名
同志社大学	8月22日(水)	1名
拓殖大学	8月22日(水)	1名
金沢星稜大学	8月22日(水)	1名



インターンシップ

(6) ワークショップ（無料/一部を除いて事前申込制）

	実施日	テーマ	参加人数
1	平成30年4月28日(土)～ 5月6日(日)※土日祝のみ	多色摺り版画を作ってみよう	計320名
2	平成30年8月中の日曜日	自分だけのカラフル土偶をつくろう	計400名
3	平成30年8月4日(土) ～9月9日(日)	遺跡のナゾにトライ	計897名
4	平成30年10月27日(土)	加賀刺繍でマカロニストラップを作ろう	20名
5	平成31年1月27日(日)	金花糖の色付け体験(有料:500円)	20名

(7) 博物館実習

期間

平成30年9月24日(月)～9月29日(土)

実習生

専修大学	文学部歴史学科	1人
新潟大学	人文学部人文学科	1人
龍谷大学	文学部歴史学科	1人
金沢大学	人間社会学域人文学類	6人
		合計 9人



月日	時間	実習内容
9月24日 (月)	9:00～9:10	開講式
	9:10～9:40	オリエンテーション
	9:50～10:50	歴史博物館の使命と業務
	11:00～12:00	展覧会の企画と運営
	13:00～15:00	館内施設見学
	15:10～16:30	博物館の文化財保存環境
9月25日 (火)	16:30～17:00	レポート作成
	9:00～12:00	歴史資料の取り扱い実習
	13:00～16:30	美術品の取り扱い実習
9月26日 (水)	16:30～17:00	レポート作成
	9:00～12:00	民俗資料の取り扱い実習
	13:00～14:50	考古資料の取り扱い実習
9月27日 (木)	15:00～16:30	博物館と各種法令
	16:30～17:00	レポート作成
	9:00～10:00	博物館資料の保存修復
	10:30～12:00	文化財保存修復工房の見学
9月28日 (金)	13:00～16:30	資料保存実習
	16:30～17:00	レポート作成
	9:00～12:00	資料梱包実習
	13:00～14:00	博物館の教育普及活動
9月29日 (土)	14:10～16:30	普及活動実習
	16:30～17:00	レポート作成
	9:00～12:00	資料整理実習
9月29日 (土)	13:00～15:00	写真撮影実習
	15:10～17:00	レポート作成

(8) れきはくメイトの運営

平成30年度

会員年齢構成

性別 年齢層	性別		合計	%
	男	女		
～10代	0人	0人	0人	0%
20代	1人	0人	1人	0.3%
30代	3人	3人	6人	1.9%
40代	11人	7人	18人	5.6%
50代	12人	13人	25人	7.8%
60代	55人	48人	103人	32.3%
70代	72人	49人	121人	37.9%
80代	28人	12人	40人	12.5%
90代～	3人	1人	4人	1.3%
不明	1人	0人	1人	0.3%
合計	186人	133人	319人	100.0%

会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)		七尾市	1	(県外)	
金沢市	229	中能登町	2	富山県	8
加賀市	2	能登町	3	神奈川県	1
小松市	10	輪島市	1	福島県	1
白山市	22	珠洲市	1	滋賀県	1
能美市	4	志賀町	1	兵庫県	1
野々市町	8	穴水町	1	愛知県	1
内灘町	7			京都府	1
津幡町	5				
かほく市	5	県内		県外	
宝達志水町	0	(小計)	305	(小計)	14
羽咋市	3			総計	319

平成 30 年度

号数	発行日	主な内容
196号	4月6日	春季特別展「明治維新と石川県誕生」・今年度の催し物案内
197号	5月15日	初夏の歴史散歩
198号	7月18日	夏季特別展「発掘された日本列島2018」・初夏の歴史散歩報告
199号	9月5日	秋季特別展「歌舞伎衣裳 綺羅をまとう」・秋のバスツアー
200号	9月20日	秋の歴史散歩・いしかわ県民大学校
201号	11月12日	企画展「いしかわの中世のやきもの」・秋の歴史散歩報告・平成30年度館長講演会
202号	1月24日	企画展「れきはくコレクション2018」・れきはくメイト会員募集

メイト情報 200



平成 30 年度
バスツアー・歴史散歩

☆歴史散歩
6月11日

「野町・寺町の寺院群をめぐる—明治維新関連史跡を中心に—」
 対 象：れきはくメイト
 担 当：当館学芸員
 講 師：当館学芸員
 参加料：500 円（拝観料・資料代）
 行 程：蛤坂—妙慶寺—承証寺—三光寺—金剛寺—西方寺境内散策

☆歴史散歩
10月11日

「近代金沢の学校—その歴史と建築—」
 対 象：れきはくメイト
 担 当：当館学芸員
 講 師：当館学芸員
 参加料：300 円（観覧料）
 行 程：旧第四高等学校本館—旧石川県庁—旧ウィン館—旧石川県第二中学校本館

(9) れきはくボランティア

市民の交流や協働、生涯学習の場として開かれた博物館を目指し、平成 18 年度よりボランティアを公募している。学校団体見学が増加する春季・秋季にそれぞれ募集し、「歴史体験ひろば」内で主に小・中学生を対象に解説、体験学習の補助を行ってきたが、国内外から訪れる一般観光客への案内も行っている。また、平成 27 年度夏季からは広報活動の補助も新たに加わり、展覧会チラシ・ポスターの配布活動を行った。

平成 30 年度 ボランティア活動

春季 活動期間：4月16日（土）～6月15日（金）
 事前研修：4月11日（水）
 参加人数：15人

秋季 活動期間：9月12日（土）～11月16日（金）
 事前研修：9月7日（金）
 参加人数：15人

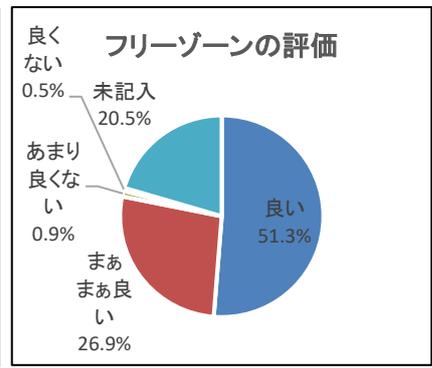
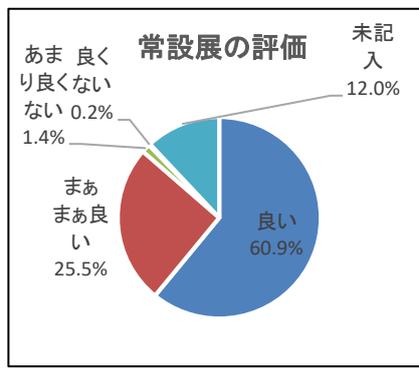
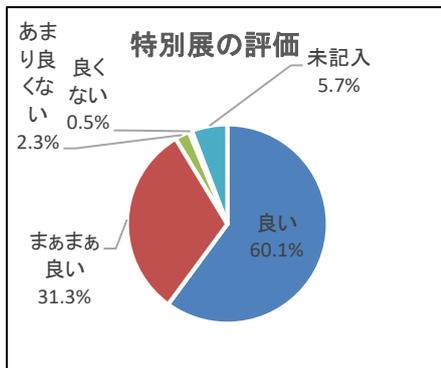


事前研修の様子（歴史体験ひろば）

(10) 入館者調査(アンケート)

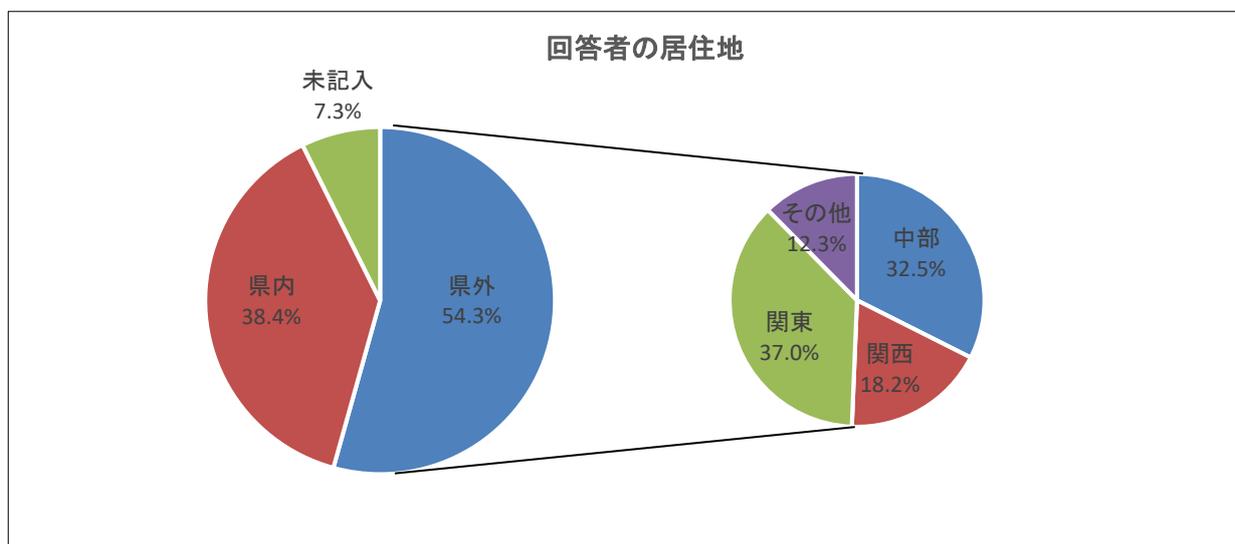
年間を通し、アンケート用紙に記入する方式で、来館者調査を行った。来館者に展覧会および博物館の評価と、来館者の情報を記入してもらった。評価は良い、まあまあ良い、あまり良くない、良くないの選択式と自由記述により、特別展・企画展の開催期間中は特別展・企画展と常設展・フリーゾーンについて、常設展のみの期間は常設展とフリーゾーンについて回答してもらった。下はその評価と、回答者の居住地を表・グラフにしたものである。

特別展の評価	良い	まあまあ良い	あまり良くない	良くない	未記入	回答数 (%)
春季特別展	97 57.7%	53 31.5%	5 3.0%	2 1.2%	11 6.5%	168 100.0%
夏季特別展	33 56.9%	23 39.7%	1 1.7%	0 0.0%	1 1.7%	58 100.0%
秋季特別展	77 75.5%	18 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	7 6.9%	102 100.0%
いしかわ中世のやきもの	18 51.4%	13 37.1%	2 5.7%	0 0.0%	2 5.7%	35 100.0%
れきはくコレクション 2018	5 25.0%	13 65.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%	20 100.0%
計 (%)	230 60.1%	120 31.3%	9 2.3%	2 0.5%	22 5.7%	383 100.0%
常設展の評価	265 60.9%	111 25.5%	6 1.4%	1 0.2%	52 12.0%	435 100.0%
フリーゾーンの評価	223 51.3%	117 26.9%	4 0.9%	2 0.5%	89 20.5%	435 100.0%



回答者の居住地

県内	県外	未記入	中部	関西	関東	その他	計
236 38.4%	334 54.3%	45 7.3%	50 32.5%	28 18.2%	57 37.0%	19 12.3%	291 100.0%



5. 入館者状況

(1)平成30年度 いしかわ赤レンガミュージアム(歴史博物館・加賀本多博物館)入館者状況

歴史博物館

	有料						無料			小計	合計 (カウンター数)
	常設展			特別展	計	常設展	特別展	計			
	歴博単独券	本多共通券	計								
4月	856	1,014	1,870	春	545	2,415	1,845	1,306	3,151	5,566	14,203
5月	1,363	1,068	2,431		1,874	4,305	3,902	3,222	7,124	11,429	17,490
6月	767	861	1,628		0	1,628	1,119	0	1,119	2,747	18,768
7月	849	1,019	1,868	0	1,868	1,184	0	1,184	3,052	19,810	
8月	1,345	1,210	2,555	夏	1,814	4,369	2,405	2,219	4,624	8,993	15,765
9月	1,049	873	1,922		466	2,780	2,458	594	4,234	7,014	14,302
10月	912	829	1,741	392	1,182						
11月	940	1,029	1,969	秋	1,298	3,039	7,515	6,218	13,733	16,772	21,252
12月	534	602	1,136		599	2,568	3,653	1,601	5,254	7,822	16,858
1月	511	569	1,080	0	1,080	476	0	476	1,612	7,937	
2月	614	779	1,393	0	1,393	509	0	509	1,589	7,684	
3月	707	997	1,704	0	1,704	1,547	0	1,547	2,940	9,713	
年計	10,447	10,850	21,297	6,988	28,285	27,523	16,342	43,865	72,150	174,753	

歴史博物館 特別展のみ入場内訳

特別展名	有料	無料	特別展計
春季特別展	2,419	4,528	6,947
夏季特別展	2,280	2,813	5,093
秋季特別展	2,289	9,001	11,290
計	6,988	16,342	23,330

(2) 小・中・高等学校地区別入館者数

※個人を含む

地区	校種	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	入館者の割合 %
		校	人	校	人	校	人	校	人		
加賀地区(野々市市・白山市以南)		56	3,186	5	134	0	23	4	71	3,414	24
金沢		37	2,767	16	535	5	327	10	56	3,685	26
能登地区(河北郡以北)		24	1,163	1	67	0	32	0	0	1,262	9
富山県		56	3,473	25	1,059	1	39	4	69	4,640	32
福井県		1	24	5	222	0	18	0	0	264	2
その他		1	465	3	331	1	224	2	6	1,026	7
合計		175	11,078	55	2,348	7	663	20	202	14,291	100

II 施設概況

1. 設備概況

●受変電設備	受電電圧 6.6kV 変圧器容量 800kVA
●発電機設備	ディーゼル機関 1800mi ⁻¹ 発電機 300kVA 3相交流
●蓄電池設備	ベント型効率放電用ペースト式 据置型鉛蓄電池H-200A 54セル
●動力設備	動力設備 648kVA (一般 311kVA[エレベーター含] 24h負荷215kVA 防災負荷122kVA)
●電灯設備	照明器具 352台 (展示室内照度最高 150Lx 執務室内照度最高 750Lx)
●照明設備	展示室内 LED、執務室・バックヤード 高効率型蛍光灯・一般型蛍光灯
●構内交換設備	192回線 (局線 1回線/INS1回線/多機能28回線/内線21回線)
●放送設備	防災アンテナ 480W / 3棟用アンテナ 30W
●I T V設備	ネットワークカメラ 屋内40台 モニター32型
●テレビ・ラジオ共聴設備	アンテナ UHF -20EL FM - 5EL AMホイップ
●来客カウンター設備	カウンター 8回線 / 3棟用 4回線 センサー 1棟4箇所 / 2棟1箇所 / 3棟1箇所(本多蔵品館1箇所)
●自動火災報知設備	GR型受信機(アナログ式、自動試験機能) 表示監視0A卓 19型TFTカラー
●給水設備	便所の便器洗浄系統……市水直結方式 手洗い・飲料系統……加圧給水方式
●給湯設備	電気温水器による局所方式
●排水設備	建物内分流方式、公共下水道放流
●消火設備	屋内消火栓……第一棟、第二棟 ハロゲン消火……第二棟の特別収蔵室、古文書室 スプリンクラー……第三棟
●排煙設備	機械排煙……第一棟、第二棟、第三棟 (3系統)
●融雪設備	井水散水方式、電熱線方式
●昇降機設備	第一棟……機械室レス、身障者用、13人乗り 第一棟、第二棟……油圧式、荷物・身障者併用、2.1 t (2基) 第三棟……小型機械室レス、4人乗り
●空調設備	保存空調条件 Aランク収蔵 ・収蔵庫 21±1℃ RH60±5% ・企画展示室、特別展示室 21±1℃ RH60±5% 空調方式 Aランク保存展示系統 ・変風量単一ダクト方式 ・第1棟. . . 企画展示室、特別展示室 ・第2棟. . . 収蔵庫 ・第3棟. . . 収蔵庫

一般系統

- ・第1棟. . . ファンコイル外気処理併用方式
- ・第2棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・第3棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・渡り廊下(ほっとサロンを含む)
空冷ヒートポンプ・ペリメーター電気ヒーター・床暖房併用方式

熱源

- ・Aランク保存展示系統 (冷水+温水 . . . 蓄冷+蓄暖)
水冷モジュールチラー-264KW ×2モジュール
無圧温水ヒーター-116KW ×2モジュール 都市ガス仕様
冷水槽56m³・温水槽84m³
- ・一般系統 (冷温水 . . . 密閉)
冷温水発生機150RT(50×3) 527KW 都市ガス仕様
- ・一般系統 (空冷ヒートポンプ エアコン)
空冷ビル用マルチエアコン 冷房能力165KW/暖房能力183KW
空冷パッケージエアコン 冷房能力10KW/暖房能力11.2KW

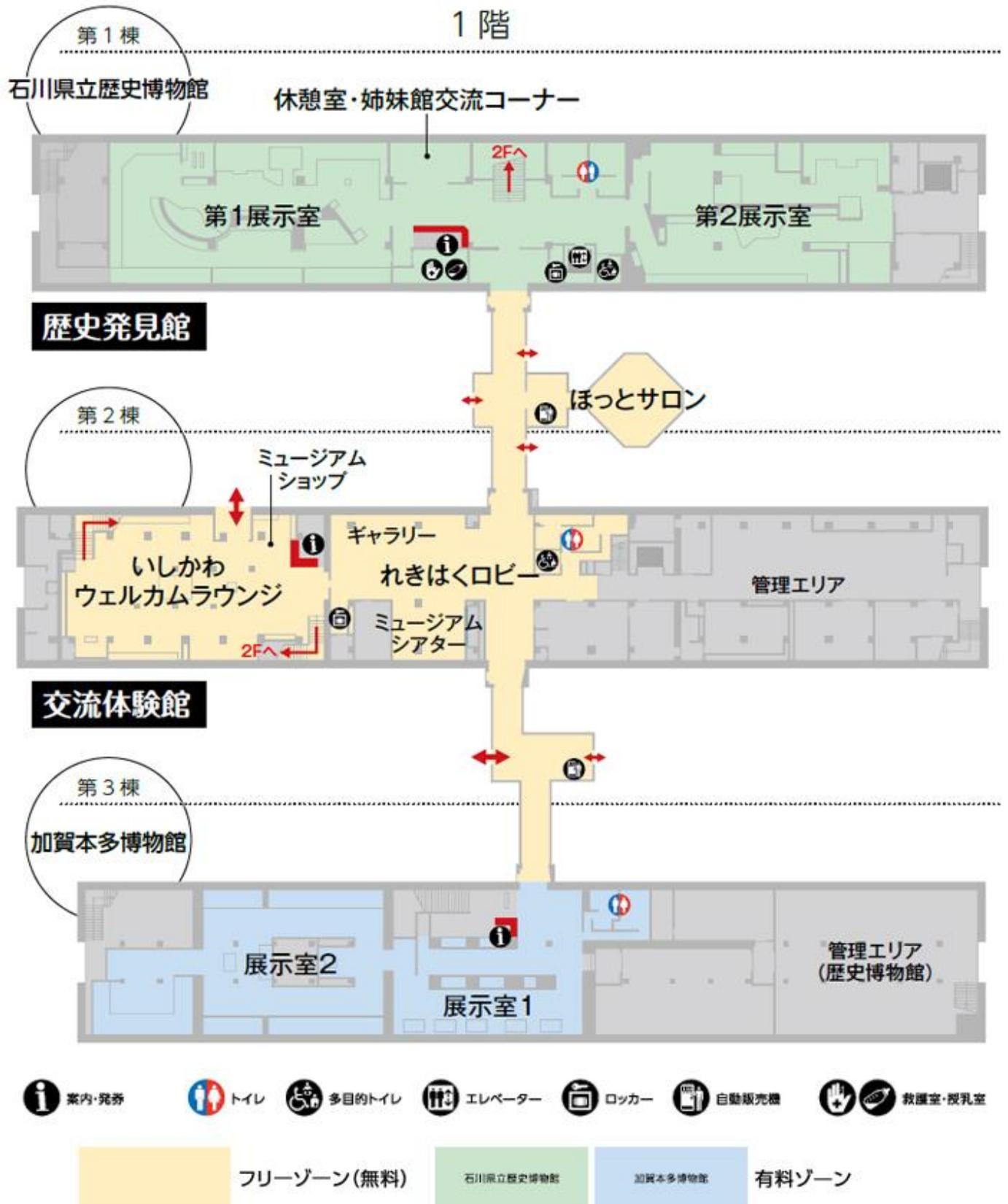
2. 各棟室面積一覧

2015/6/11

管轄	部門	階別	展示室		収蔵スペース		共用区分		機械室分		計	
			室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	階別	延べ
歴博	第一棟	1階	常設展示室1	396.19	第一倉庫	13.12	ほっとサロン	65.06	空調機械室1	34.92	1480.55	2767.83
			常設展示室2	364.21			渡り廊下1	99.18	空調機械室2	50.35		
							ホール	121.69	ファンルーム	11.47		
							その他	307.71	EV機械室	16.66		
		計	760.40	計	13.12	計	593.64	計	113.40			
		2階	企画展示室	274.42	第二倉庫	13.12	ホール	135.64	空調機械室3	37.23	1287.28	
			企画展示室準備室	114.20	第三倉庫	17.85	その他	162.28	サーバールーム1	5.95		
			特別展示室	409.63	第四倉庫	6.01			サーバールーム2	2.99		
	特別展示準備室		44.53	第五倉庫	17.62			サーバールーム3	4.17			
	控室	19.16	機材倉庫	19.71			サーバールーム4	2.78				
	計	861.94	計	74.30	計	297.92	計	53.12				
	第二棟	1階	ISHIKAWAの博物館	310.29	倉庫A(1F)	18.04	渡り廊下2	100.25	中央機械室	199.58	1416.77	2721.76
			れきはくびー	250.57	倉庫B(1F)	7.50	館長室	51.88	受変電室	45.97		
			(うちみぎヤマト)	(76.22)	倉庫C(1F)	6.50	副館長室	28.51	発電室	39.32		
			(うちみぎヤマト)	(45.77)	倉庫D(1F)	1.62	事務室	51.20	ITサーバールーム	14.47		
							警備室	17.46	消火ポンプ室	9.97		
							その他	250.17	EV機械室	13.48		
			計	560.86	計	33.66	計	499.46	計	322.79		
		2階	歴史体験広場(多目的ホール)	171.20	特別収蔵室	160.39	研究室	115.47	ファンルーム	13.31	1304.99	
			情報コーナー	93.96	古文書室	54.46	閲覧室	19.40				
			ワークショップスペース	146.81	文献図書室	49.02	解説員室	56.23				
					フィルム保管室	29.71	ITサーバールーム	18.37				
					倉庫A(2F)	21.78	その他	319.23				
					倉庫B(2F)	21.74						
計		411.97	計	351.01	計	528.70	計	13.31				
第三棟		1階			第1収蔵室	152.34	その他	60.23	機械室1	52.66	602.56	
					第2収蔵室(1階)	270.57			機械室2	55.14		
	2階							サーバールーム	11.63	549.90		
		計	0.00	計	422.91	計	60.23	計	119.42			
				第2収蔵室(2階)	529.06	その他	20.84					
計	0.00	計	529.06	計	20.84	計	0.00					
本多蔵品館	第三棟	1階	本多蔵品館展示室1	266.57			その他	45.83		646.52	2249.79	
			本多蔵品館展示室2	334.11								
			計	600.69	計	0.00	計	45.83	計			0.00
	2階	準備室	90.23	本多蔵品館収蔵室	153.93	事務室	28.52			450.81		
						会議室	78.18					
		計	90.23	計	153.93	計	206.65	計	0.00			
ケリガク	1階					6.90						
合計		展示合計	3286.08	収蔵合計	1577.99	共用合計	2253.27	機械合計	622.05		7746.28	

敷地面積	26791.46
------	----------

3. 館内平面図



2階

第1棟

石川県立歴史博物館



歴史発見館

休憩室

第2棟

歴史体験ひろば
多目的ホール

情報
コーナー

ワーク
ショップ
ルーム

管理エリア

交流体験館

第3棟

加賀本多博物館



案内・発券



トイレ



多目的トイレ



エレベーター



ロッカー



自動販売機



救護室・授乳室



フリーゾーン(無料)



石川県立歴史博物館

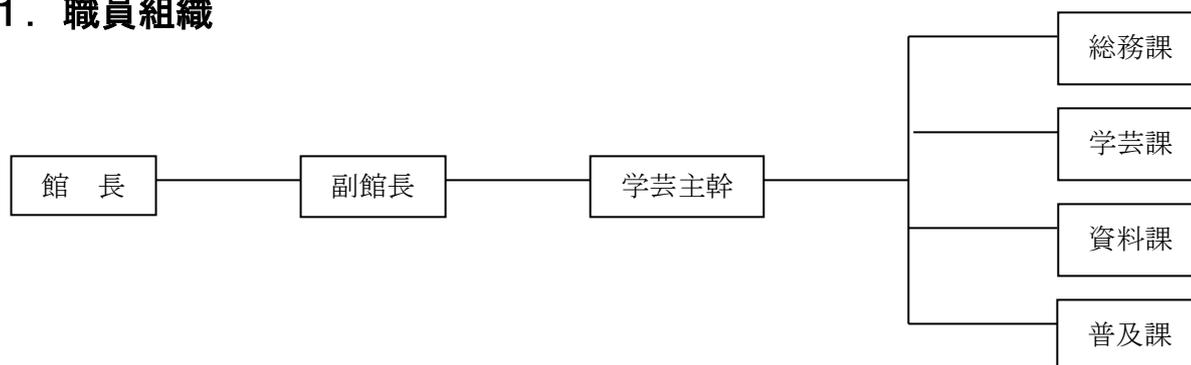


加賀本多博物館

有料ゾーン

Ⅲ. 組織と運営

1. 職員組織



2. 職員名簿

平成 30 年度（平成 30 年 4 月 5 日現在）

館長（非常勤嘱託）	藤井 譲治	学芸課	普及課
副館長（〃）	宮崎 良則	課長（技術）（併） 大門 哲	課長（技術）（併） 永井 浩
学芸主幹（〃）（技術）	北 春千代	（本務 教育委員会、兼白山ろく民俗資料館）	（本務 教育委員会）
学芸主幹（再）（技術）	戸澗 幹夫	学芸主任（〃） 大井 理恵	学芸主任（〃）（〃） 塩崎 久代
		（兼白山ろく民俗資料館）	（本務 教育委員会）
		学芸主任（〃）（併） 石田 健	学芸員 野村 将之
		（本務 教育委員会、兼石川四高記念文化交流館）	非常勤嘱託 池村 由恵
		非常勤嘱託 杉本 日奈	
総務課			
課長（事務）	皆戸 靖彦	資料課	
主幹（〃）	北山 勝之	学芸主幹兼課長（再）（技術） 濱岡 伸也	
企画管理専門員（〃）	浅田 康弘	学芸主査（技術） 三浦 俊明	
企画管理専門員（再）（〃）	谷口 秀子	学芸員 岡崎 道子	
業務主任（再）（技術）兼美術館	北 晃	非常勤嘱託 斉田はる子	
非常勤嘱託	山田ゆかり		

3. 予算及び決算

※定数内職員費及び運営費（職員費）を除く。

（単位：千円）

事業名	平成 30 年度		
	当初予算額	最終予算額	決算額
運営費	73,030	79,086	78,995
案内解説事業費	19,502	18,900	18,900
展示費	37,856	34,678	34,658
調査普及費	17,495	16,350	16,323
整備費	1,600	1,500	1,500
国際交流費	144	144	144
米泉収蔵庫管理事業費	420	420	419
計	150,047	151,078	150,939

4. 事務分掌

平成 30 年度(平成 30 年 4 月 1 日現在)

総 務 課	
1	課内事務の統括に関する事。
2	出納事務に関する事。
3	諸規定の運営に関する事。
4	防犯及び防災計画に関する事。
5	運営審議会の連絡調整に関する事。
6	他の課に属しない事務に関する事。
7	予算・決算に関する事。
8	委託等契約事務に関する事。
9	財産の維持及び管理に関する事。
10	情報政策推進員業務に関する事。
11	物品及び収入・支出経理に関する事。
12	文書管理事務に関する事。
13	公用車の運転及び整備に関する事。
14	県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事。
15	職員の服務及び給与、旅費等に関する事。

学 芸 課	
1	学芸活動の企画・調整に関する事。
2	姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事。
3	常設展の調整・改善に関する事。
4	特別展及び企画展の企画・調整に関する事。
5	展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事。
6	石川の歴史遺産セミナーに関する事。
7	紀要の作成に関する事。
8	貸館の企画・調整に関する事。
9	寄贈図書等の受入・整理に関する事。
10	文化財情報の収集・整理に関する事。
11	その他学芸補助に関する事。

資 料 課	
1	資料の調査・受入に関する事。
4	資料の保存・修理に関する事。
3	資料の複製・模型に関する事。
1	資料の貸与及び特別利用に関する事。
2	借用資料のとりまとめに関する事。
5	収蔵品の保全・管理に関する事。
3	コレクション展に関する事。
2	運営審議会・資料評価部会に関する事。
4	博物館実習に関する事。

普 及 課	
1	普及事業の企画・調整に関する事。
2	学校教育との連携に関する事。
3	社会教育機関との連携に関する事。
4	県民大学校に関する事。
5	ホームページに関する事。
6	広報活動の企画・実施に関する事。
7	れきはくメイトに関する事。
8	入館者の動向調査に関する事。
9	ボランティアに関する事。
10	年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事。
11	石川れきはく編集・発行に関する事。
12	各種印刷物の発送に関する事。

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

5. 各種委員会

(1) 運営審議会

石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館(以下「博物館」という。)の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会(以下「運営審議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格(以下「資料の評価等」という。)に関し審議する専門部会(以下「資料評価専門部会」という。)を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務は博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

会議

<第1回> 平成31年3月13日(水)

会場 本館ワークショップルーム

- 議事 (1) 平成30年度の事業執行状況について
(2) 平成31年度事業計画及び予算について

委員名簿(13名)

(平成30年4月1日現在)

氏名	役職	委員の構成	備考
東四柳史明	金沢学院大学名誉教授	学識経験者	資料評価専門部会員
谷内尾晋司	石川考古学研究会顧問	〃	資料評価専門部会員
東 澄子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会員
太田 昌子	金沢美術工芸大学名誉教授	〃	
笠井 純一	金沢大学名誉教授	〃	
高屋喜久子	元金沢学院大学美術文化学部情報デザイン科教授	〃	
小林 忠雄	加能民俗の会会長	〃	資料評価専門部会員
木越 隆三	金沢城調査研究所長	〃	資料評価専門部会員
野口 弘	金沢市教育長	〃	
能木場由紀子	石川県婦人団体協議会会長	社会教育関係者	
坂根 順子	石川県小学校長会(金沢市立千坂小学校長)	学校教育関係者	
越中 修	石川県中学校長会(かほく市立高松中学校長)	〃	
藤井 直樹	石川県高等学校長会(県立金沢二水高等学校長)	〃	

IV. 関係条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和 32 年 3 月 27 日条例第 14 号)

(設 置)

第 1 条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条第 1 項、図書館法(昭和 25 年法律第 118 号)第 10 条、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 18 条及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 30 条の規定により、県に学校以外の教育機関等及びその他の施設を設置する。

(名称、位置及び事業内容)

第 2 条 前条の教育機関等の名称、位置及び事業内容は、次のとおりとする。

名 称	位 置	事 業 内 容
石川県立歴史博物館	金沢市	歴史民俗文化財の収集、保管及び展示並びに歴史民俗文化財に関する調査研究及び指導に 関すること。

備考 石川県立歴史博物館の設置は、昭和 61 年 3 月 22 日条例第 24 号の改正による。

2. 石川県立歴史博物館管理規則(平成 27 年 3 月 31 日石川県規則第 16 号)

(趣 旨)

第 1 条 この規則は、学校以外の教育機関等設置に関する条例(昭和 32 年石川県条例第 14 号)第 11 条の規定により、石川県立歴史博物館(以下「歴史博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 歴史博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、展示室への入室は、午後 4 時 30 分までとする。

(休館日)

第 3 条 歴史博物館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 1 月 1 日から同月 3 日まで及び 12 月 29 日から同月 31 日まで

(2) 資料の展示替え又は整理の期間

(開館時間の変更等)

第 4 条 前 2 条の規定にかかわらず、知事が特に必要があるとき認めるときは、臨時に開館時間を変更し、又は休館することができる。

2 前項の規定により開館時間を変更し、又は休館する場合は、その旨を歴史博物館の入口その他見やすい場所に掲示するものとする。

(入館の制限)

第 5 条 石川県立歴史博物館長(以下「館長」という。)は、次の各号の 1 に該当する者に対しては、歴史博物館への入館を拒否することができる。

- (1) 他の入館者に迷惑を及ぼすおそれがある者
- (2) 他の入館者に危害を加え、又は歴史博物館の設備、器具若しくは展示品を損傷するおそれがある物品又は動物を携帯する者
- (3) 前 2 号に掲げる者のほか、歴史博物館の管理上支障があると認められる行為をするおそれがある者

(入館者の遵守事項等)

第 6 条 歴史博物館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと(特に指定した展示品を除く。)
- (2) 展示品の近くでインキ、墨汁等を使用しないこと。
- (3) 館長の許可を受けないで、展示品の撮影、模写等をしないこと。
- (4) 館長の指定する場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- (5) 寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 他の入館者に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

2 館長は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に退去を命じ、又は必要な措置をとることができる。

(特別利用の許可等)

第 7 条 歴史博物館が所蔵する資料(以下「所蔵品」という。)の閲覧、模写、模造、撮影又は写真原板使用等(以下これらを「特別利用」という。)をしようとする者は、別記様式第 1 号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第 1 号は省略

2 前項の場合において、所蔵品でないもの又は他に著作権があるものについては、それぞれ当該所有者又は著作権者の同意を得た書面を添付しなければならない。

3 館長は、第 1 項の許可に歴史博物館の管理上必要な条件を付すことができる。

4 館長は、第1項の許可を受けた者が前項の規定により付された許可の条件に違反した場合には、当該許可を取り消し、又は当該許可に係る特別利用を停止させることができる。

(施設の使用許可)

第8条 歴史博物館の施設(特別展示室、企画展示室、ギャラリーに限る。)を使用しようとする者は、使用しようとする日の1年前から1月前までに別記様式第2号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、館長が特別の事情があると認めたときは、この期間によらないことができる。

※別記様式第2号は省略

2 前項の許可は、館長が歴史博物館の事業活動に支障がないと認める場合にするものとする。

3 前条第3項の規定は、第1項の許可に準用する。

(施設使用の制限)

第9条 館長は、前条第1項本文の規定による申請が次のいずれかに該当する場合には、同項の許可をしないことができる。

- (1) 館内の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、歴史博物館の管理上支障があると認められるとき。

(施設使用の変更)

第10条 第8条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)が当該許可に係る事項の変更をしようとするときは、別記様式第3号による申請書に同項の許可に係る許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第3号は省略

(使用者の使用取消し)

第11条 使用者が施設の使用を取り消すときは、別記様式第4号による届出書に第8条第1項の許可に係る許可書を添えて、速やかに、館長に提出しなければならない。この場合において、前条の規定による変更の許可を受けていた場合は、当該変更に係る許可書を添えてしなければならない。

※別記様式第4号は省略

(使用権の譲渡等の禁止)

第12条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更の禁止)

第13条 使用者は、施設に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

第14条 使用者は、前2条に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 許可を受けた目的外に使用しないこと。
- (2) 使用許可を受けた施設(以下「使用許可施設」という。)以外の施設に立ち入らないこと。
- (3) 館長の許可を受けずに寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと(第三者をして行わせる場合を含む)。
- (4) 第5号各号のいずれかに該当する者に対しては、使用許可施設への入場を拒否すること。
- (5) 使用許可施設の入場者に第6条第1項各号に掲げる事項を守らせ、及び当該事項を守らない者があるときは、その者を退場させ、又は必要な措置を講ずること。
- (6) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

(施設使用許可の取消し)

第15条 使用者が次のいずれかに該当する場合には、館長は、第8条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請により許可を受けたことが判明したとき。
- (2) 第8条第3項において準用する第7条第3項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 第9条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- (4) 第10条から前条までの規定に違反したとき。

(館長の指示等)

第16条 館長は、歴史博物館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、使用者に対し、施設の使用に関して指示をし、又は職員を使用中の施設に立ち入らせその使用状況を調査させることができる。

(原状回復)

第17条 使用者は、施設の使用を終了したときは、その使用に係る施設を直ちに原状に回復し、館長に届け出てその点検を受けなければならない。第15条の規定により使用の許可を取り消されたときも同様とする。

(施設使用終了の報告)

第18条 使用者は、施設の使用を終了したときは、速やかに、別記様式第5号による報告書を館長に提出しなければならない。

※別記様式第5号は省略

(損害賠償)

第19条 館長は、歴史博物館の施設、設備、展示品等を故意又は過失によりき損又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(所蔵品の貸出し)

第 20 条 館長は、所蔵品を他の博物館又はこれに準ずるものに貸し出すことができる。公益事業の用に供するときも同様とする。

2 館長は、前項の規定により所蔵品の貸出しを行う場合において、当該所蔵品が文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）又は石川県文化財保護条例（昭和 32 年石川県条例第 41 号）の規定による指定を受けた文化財であるときは、教育委員会教育長の承認を受けなければならない。

（資料の受託）

第 21 条 館長は、資料の保管の委託を受けるときは、知事の承認を受けなければならない。

（雑 則）

第 22 条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 18 年 6 月 30 日規則第 43 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 31 日規則第 16 号）

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

3. 石川県立歴史博物館使用料条例 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 7 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、石川県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第 2 条 この条例において「使用料」とは、入場料及び施設使用料をいう。

(入場料)

第 3 条 知事は、展示資料を観覧するため歴史博物館へ入館する者から入場料を徴収する。

2 入場料の額は、別表 1 のとおりとする。

(施設使用料)

第 4 条 知事は、歴史博物館の施設の使用の許可を受けた者（別表 2 において「使用者」という。）から施設使用料を徴収する。

2 施設使用料の額は、別表 2 のとおりとする。

(使用料の納付等)

第 5 条 使用料は、前納しなければならない。ただし、知事は、相当の理由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を後納させることができる。

2 既納の使用料は、返還しない。ただし、知事が返還することを相当と認めたときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(規則への委任)

第 6 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第 2 項の規定は昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。(昭和 61 年 10 月規則第 43 号で、同 61 年 10 月 25 日から施行)

2 石川県立郷土資料館入場料条例(昭和 43 年石川県条例第 38 号)は、廃止する。

附 則 (平成元年 3 月 24 日条例第 5 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成元年 4 月 1 日から施行する。(後略)

附 則 (平成 18 年 6 月 30 日条例第 29 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 7 号)

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 (第 3 条関係)

1 常設展示を観覧する場合

区 分	単 位	金 額	
		個人	団体(20人以上)
一 般 (18歳以上の者)	1人につき	300円	240円
大学の学生及び これに準ずる者	1人につき	240円	190円

2 特別展示を観覧する場合

1,500 円の範囲内で知事とその都度定める額

別表第 2(第 4 条関係)

1 使用者が観覧料、入場料その他これらに類する料金(次項において「料金」という。)を徴収しない場合

区 分	単 位	施設利用料の額
特別展示室	1日につき	18,920円

2 使用者が料金を徴収する場合

前項の施設使用料の額に 100 分の 130 を乗じて得た額

3 企画展示室に係る使用料の額については、第 2 項の施設使用料の例により知事とその都度定める。

備考

1 「1 日」とは、午前 9 時から午後 5 時までをいう。

2 使用時間が 1 日の時間に満たない場合の施設使用料の額は、当該 1 日の施設使用料の額とする。

4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則 (平成 28 年 3 月 25 日 規則第 9 号)

(趣 旨)

第 1 条 この規則は、石川県立歴史博物館使用料条例(昭和 61 年石川県条例第 26 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入場券)

第 2 条 条例第 3 条第 1 項の規定により入場料を徴収したとき(前納したときに限る。)は、当該被徴収者に別記様式第 1 号に規定する入場券を交付す

るものとする。

(使用料の後納)

第 3 条 条例第 5 条第 1 項ただし書きの規定により使用料を後納させることができる場合は、次のとおりとする。

(1) 旅行業法(昭和 27 年法律第 239 号)第 3 条の規定による登録を受けた者との入場に係る契約に基づき入場させるとき。

(2) その他石川県立歴史博物館長(以下「館長」

という。)が特別の理由により必要と認めたと
き。

(使用料の返還)

第4条 条例第5条第2項ただし書きの規定により

使用料を返還することができる場合及びその割合
は、次のとおりとする。

- (1) 管理上の必要により、施設の使用の許可を取
り消したとき。 施設使用料の全額
- (2) 施設の使用許可を受けた者が使用開始前 10
日までに使用の取消しを届け出たとき。 施
設使用料の 100 分の 60 に相当する額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認め
たとき。 入場料又は施設使用料のうち館長
が相当と認める額

2 前項の規定により使用料の返還を受けようとす
る者は、別記様式第2号に規定する使用料返還請
求書に入場料の返還の場合にあつては、入場券を
添えて、館長に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第5条 条例第5条第3項の規定により使用料を減
免することができる場合及びその割合は、次のと
おりとする。

- (1) 小学校、中学校、義務教育諸学校、高等学校
及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者
が教育課程に基づく教育活動として入場す
るとき。 使用料の全額
- (2) 生活保護法（昭和25年法律第144号）に基
づく生活扶助又は教育扶助を受けている者
で県内に居住する者が入場するとき。 使用
料の全額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認め
たとき。 入場料又は施設使用料のうち館長
が相当と認める額

2 前項の規定により入場料の減免を受けようとす
る者の取扱いについては、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和61年10月25日から施行する。

附 則（平成元年3月31日規則第25号）

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成7年月28日規則第33号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成11年3月31日規則第35号）

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則による改正前のそれぞれの規則の規定
に基づき作成した用紙は、なお当分の間、所要の
調整をして使用することができる。

附 則（平成18年6月30日規則第41号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月30日規則第22号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。附

則（平成28年3月25日規則第9号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

平成30年度(2018)

- 4月11日 春季ボランティア研修会
- 4月13日 春季ボランティア研修会
- 4月19日 休館(～4月20日まで)
- 4月21日 春季特別展「明治維新と石川県誕生」開催(4月21日～5月27日まで)
- 4月21日 展示解説①
- 4月28日 特別展記念講演会「幕末・維新期の鉄砲製造の動向と加賀藩」
- 4月28日 春季特別展ワークショップ「多色刷り版画を作ってみよう」(4/28～30)
- 5月12日 特別展記念講演会「海外に雄飛した加賀侍の気概の源をさぐる」
- 5月17日 ボランティア甲冑セミナー
- 5月20日 石川の歴史遺産セミナー「百万石の明治維新を考える」
- 5月24日 古文書講座前期①「加賀藩領の百姓たち」
- 5月25日 学芸員によるワンポイント解説①
- 5月26日 展示解説②
- 5月28日 休館(～5月29日まで)
- 6月11日 れきはくメイト初夏の歴史散歩「野町・寺町の寺院群をめぐる」
- 6月16日 れきはくゼミナール①
- 6月21日 古文書講座前期②「加賀藩領の百姓たち」
- 6月22日 学芸員によるワンポイント解説②
- 7月21日 れきはくゼミナール②
- 7月26日 古文書講座前期③「加賀藩領の百姓たち」
- 7月27日 学芸員によるワンポイント解説③
- 8月2日 休館(～8月3日)
- 8月4日 夏季特別展「発掘された日本列島2018」開催(8月4日～9月9日まで)
- 8月4日 特別展記念講演会「『発掘された日本列島2018』の見どころ」
- 8月4日 子ども体験コーナー「遺跡のナゾとときにトライ！」(8/4～9/9)
- 8月5日 夏季特別展ワークショップ「自分だけのカラフル土偶をつくろう」(8/5・12・19・26)
- 8月11日 展示解説①
- 8月11日 ワークショップ「友禅のハンカチを作ろう」
- 8月16日 きらりんワークショップ「光の箱」
- 8月17日 きらりんワークショップ「光のツリー」
- 8月18日 れきはくゼミナール③
- 8月23日 古文書講座前期④「加賀藩領の百姓たち」全4回修了
- 8月24日 学芸員によるワンポイント解説④
- 8月25日 展示解説②
- 9月1日 展示解説③
- 9月7日 秋季ボランティア研修
- 9月8日 展示解説④
- 9月10日 休館(～9月11日まで)
- 9月15日 れきはくゼミナール④
- 9月20日 休館(～9月21日まで)
- 9月22日 秋季特別展「歌舞伎衣裳 綺羅をまと」開催(9/22～11月11日まで)
- 9月22日 子ども体験コーナー「歌舞伎であそぼう！」(9/22～11/11)
- 9月28日 学芸員によるワンポイント解説⑤・地歌舞伎にふれるバスツアー(美濃歌舞伎)
- 10月6日 展示解説①
- 10月8日 特別展記念講演会「絵でみる歌舞伎の装い 阿国から助六まで」
- 10月11日 れきはくメイト秋の歴史散歩「近代金沢の学校—その歴史と建築—」
- 10月20日 れきはくゼミナール⑤
- 10月23日 MWミニコンサート「ギターの響き」
- 10月26日 学芸員によるワンポイント解説⑥
- 10月27日 秋季特別展ワークショップ「加賀刺繍でマカロンストラップを作ろう」
- 10月28日 伝統工芸制作体験ワークショップ「手描き加賀友禅のハンカチをつく」
- 10月30日 MWミニコンサート「ハーブの響き」
- 11月3日 展示解説②
- 11月3日 秋季特別展記念イベント「歌舞伎メイク『隈取』体験ワークショップ」



初夏の歴史散歩



多色刷り版画を作ってみよう



古文書前期



夏季展・子ども体験コーナー



館長講演会「豊臣政権下の前田利家」

- 11月4日 工芸文化の歴史講座「加賀象嵌、金箔」
- 11月12日 休館(～11月13日まで)
- 11月14日 いしかわ県民大学校「歴史講座」①
- 11月17日 れきはくゼミナール⑥
- 11月18日 ふれてみるいしかわの文化展開催(11月18日～24日まで)
- 11月18日 ふれてみるいしかわの文化展「親子ふれあい彫刻ワークショップ」
- 11月20日 ふれてみるいしかわの文化展「ウクレレミニコンサート」
- 11月21日 いしかわ県民大学校「歴史講座」②
- 11月22日 ふれてみるいしかわの文化展「ウクレレミニコンサート」
- 11月23日 学芸員によるワンポイント解説⑦
- 11月24日 ふれてみるいしかわの文化展「音楽劇ヘンゼルとグレーテル」
- 11月25日 石川の歴史遺産セミナー「金沢歌舞伎と茶屋街の芸」
- 11月28日 いしかわ県民大学校「歴史講座」③
- 12月5日 いしかわ県民大学校「歴史講座」④
- 12月12日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑤
- 12月15日 冬の企画展「いしかわ中世のやきもの」開催(12月16日～1月21日まで)
- 12月15日 れきはくゼミナール⑦
- 12月19日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑥
- 12月21日 学芸員によるワンポイント解説⑧
- 12月28日 年末年始休館(12月28日～1月3日まで)/消防訓練
- 1月9日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑦
- 1月12日 展示解説
- 1月19日 れきはくゼミナール⑧
- 1月23日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑧
- 1月24日 古文書講座後期①「俱利伽羅長楽寺を読む」
- 1月25日 学芸員によるワンポイント解説⑨
- 1月27日 ワークショップ「金花糖の色付け体験」
- 1月30日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑨
- 1月31日 休館(～2月1日まで)
- 2月2日 企画展「れきはくコレクション2018」開催(2月2日～3月17日まで)
- 2月2日 館長講演会「豊臣政権下の前田利家」
- 2月3日 工芸文化の歴史講座「加賀前田家と九谷焼」
- 2月6日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑩全10回修了
- 2月16日 れきはくゼミナール⑨
- 2月17日 展示解説
- 2月21日 古文書講座後期②「俱利伽羅長楽寺を読む」
- 2月22日 学芸員によるワンポイント解説⑩
- 3月14日 古文書講座後期③「俱利伽羅長楽寺を読む」全3回修了
- 3月16日 れきはくゼミナール⑩
- 3月18日 休館(～19日まで)
- 3月22日 学芸員によるワンポイント解説⑪全11回修了
- 3月23日 れきはくゼミナール⑪全11回修了



工芸文化の歴史講座



秋季ボランティア研修



地歌舞伎にふれるバスツアー



歴史遺産セミナー



県民大学

VI. 各種書式

特別利用許可申請書（掲載）

年 月 日

石川県立歴史博物館
館長 藤井 讓治 様

所在地

申請者 名称及び代表者の氏名

㊞

電話番号

担当者名

下記の資料の掲載を許可して下さるよう申請します。

1、資料名

2、利用目的（掲載媒体と出版年月日も明記）

3、画像提供の要・不要

4、備考

掲載に際して

- ① 今回の申請の目的以外に使用しません。
- ② 石川県立歴史博物館所蔵であることを表示します。
- ③ 掲載物を1部石川県立歴史博物館に寄贈します。
- ④ その他、石川県立歴史博物館の指示に従います。

記入時の注意

- 1、申請者欄の代表者名には、貴社代表者様（代表取締役など）のお名前を、役職名も含めて記入してください。
- 2、申請者欄の㊤には社判（公印）を押してください。
- 3、資料名は正確に記入してください。
- 4、**資料のデータ提供**を希望される場合は画像提供の要・不要欄に「データ希望」と記し、メールで受け取る（2MBまで）か記録媒体（CDなど）で受け取るかを明記してください。メールでの受け取りを希望される場合はメールアドレスを併記してください。特別利用承諾書の郵送とともにデータを送信します。記録媒体での受け取りを希望される場合は申請書に当該媒体を同封してください。
- 5、**フィルムの貸与**を希望される場合は画像提供の要・不要欄に「フィルムの貸与希望」と記入してください。特別利用承諾書・ポジフィルムとともに借用証をお送りします。借用証は正本と控の二枚一組です。両方に記入・押印してください。借用証中の「代表者名」には貴社代表者様のお名前を記入し、「印」には社判（公印）を押してください。借用証は記入後、正本の方を速やかに当館へお送りください。正本はフィルムの返却後、ご返送します。
- 6、資料の特定に必要ですので、参考にされた**図版のコピー**を必ず添付してください。
- 7、申請書は、返信用封筒と 82 円切手を添えてお送りください。

特別利用許可申請書（放映）

年 月 日

石川県立歴史博物館
館長 藤井 讓治 様

所在地

申請者 名称及び代表者の氏名

㊟

電話番号
担当者名

下記の資料の放映を許可して下さるよう申請します。

1、資料名

2、利用目的（放送局、番組名と放映年月日も明記）

3、画像提供の要・不要

4、備考

放映に際して

- ① 今回の申請の目的以外に使用しません。
- ② 石川県立歴史博物館所蔵であることを表示します。
- ③ その他、石川県立歴史博物館の指示に従います。

記入時の注意

- 1、申請者欄の代表者名には、貴社代表者様（代表取締役など）のお名前を、役職名も含めて記入してください。
- 2、申請者欄の㊤には社判（公印）を押してください。
- 3、資料名は正確に記入してください。
- 4、**資料のデータ提供**を希望される場合は画像提供の要・不要欄に「データ希望」と記し、メールで受け取る（2MBまで）か記録媒体（CDなど）で受け取るかを明記してください。メールでの受け取りを希望される場合はメールアドレスを併記してください。特別利用承諾書の郵送とともにデータを送信します。記録媒体での受け取りを希望される場合は申請書に当該媒体を同封してください。
- 5、**フィルムの貸与**を希望される場合は画像提供の要・不要欄に「フィルムの貸与希望」と記入してください。特別利用承諾書・ポジフィルムとともに借用証をお送りします。借用証は正本と控の二枚一組です。両方に記入・押印してください。借用証中の「代表者名」には貴社代表者様のお名前を記入し、「印」には社判（公印）を押してください。借用証は記入後、正本の方を速やかに当館へお送りください。正本はフィルムの返却後、ご返送します。
- 6、資料の特定に必要ですので、参考にされた**図版のコピー**を必ず添付してください。
- 7、申請書は、返信用封筒と 82 円切手を添えてお送りください。

石川県立歴史博物館 年報
第 21 号 平成 30 年度版
令和 2 年 3 月 31 日発行

発 行 石川県立歴史博物館
〒920-0963
石川県金沢市出羽町 3 番 1 号
T E L (076) 262-3236